

平成 21 年度分 新米子市総合計画
(米子いきいきプラン)
数値目標 進捗状況報告書



平成 22 年 8 月

企画部企画課

目 次

1	調査の目的	・・・・・・・・	1
2	調査対象	・・・・・・・・	1
3	目標達成度	・・・・・・・・	1
4	調査結果	・・・・・・・・	2
5	政策分野別の進捗状況	・・・・・・・・	4
(1)	第1章 子育てを応援し、お年寄りが元気な米子	・・・・・・・・	4
(2)	第2章 ゆとりある心豊かな米子	・・・・・・・・	6
(3)	第3章 活力みなぎる米子	・・・・・・・・	8
(4)	第4章 みんなのための市役所	・・・・・・・・	10
6	数値目標項目別進捗状況	・・・・・・・・	12
	(21年度の取り組み・成果、目標実現の方策等)		

1 調査の目的

平成 18 年度にスタートした「新米子市総合計画（米子いきいきプラン）」の成果や進捗状況を把握し、今後の施策推進に役立てるため、基本計画のなかで設定した数値目標の平成 21 年度末における進捗状況調査を実施した。

2 調査対象

新米子市総合計画基本計画の数値目標 71 項目を対象とした。

数値目標のうち、「…している市民の割合」の 10 項目については、平成 22 年 1 月に実施した市民アンケートの結果を用いている。

なお、上記市民アンケートの質問項目について、下記の 2 項目を変更している。

変更前	変更後
市民が週 1 回以上、スポーツ活動を行っている割合	質問の注釈に「散歩、ラジオ体操など軽微な運動を含む」を加えた
国際交流に参加したことの市民の割合	国際交流のイベントや活動に参加したことの市民の割合

【調査対象項目数】

区 分	数値目標数
第 1 章 子育てを応援し、お年寄りが元気な米子 (福祉、保健分野)	16
第 2 章 ゆとりある心豊かな米子 (教育、文化、環境、都市基盤、地域連携分野)	29
第 3 章 活力みなぎる米子 (経済、産業、都市機能分野)	22
第 4 章 みんなのための市役所 (行政サービス、行財政改革分野)	4
数値目標の総数	71

3 目標達成度

目標達成度は、現状から総合的に判断し「A～D」の 4 つの区分に分類した。

A	目標値を達成している
B	概ね順調に進捗しており、目標を達成できる見込みである
C	進捗状況が停滞しており、目標を達成するためには取り組みを強化していく必要がある
D	基準値（17 年度現状値）を下回っている

4 調査結果

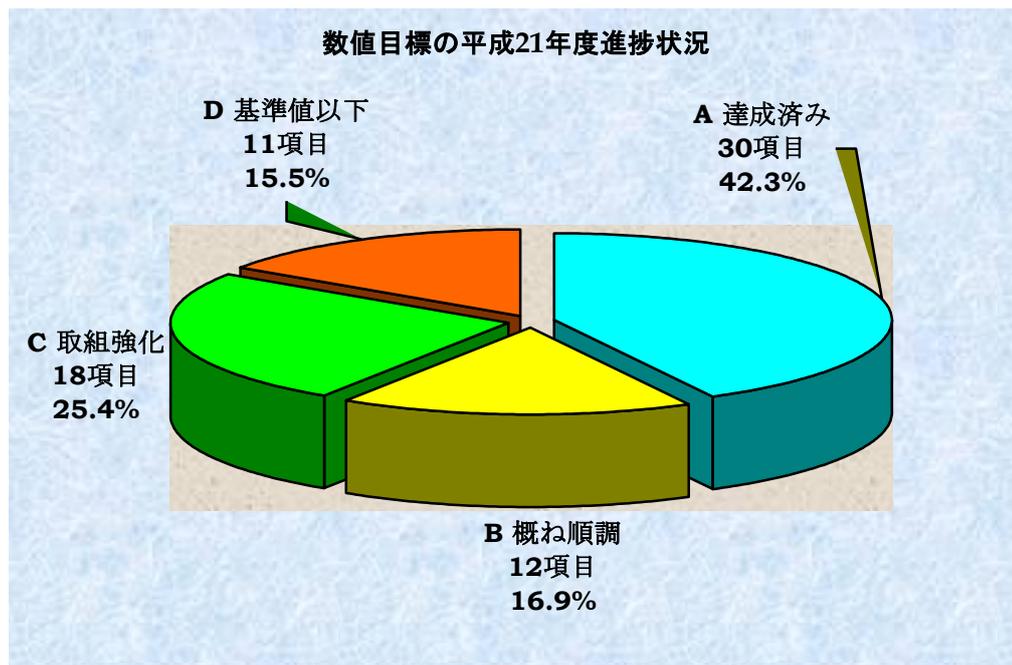
全体では約 6 割の項目が「達成済み」又は「概ね順調」である。昨年度と比較すると、「達成済み」の項目が 8 項目増えて合計 30 項目（42.3%）となり、11.3 ポイント増加した。そのほとんどが「概ね順調」から移行したものである。

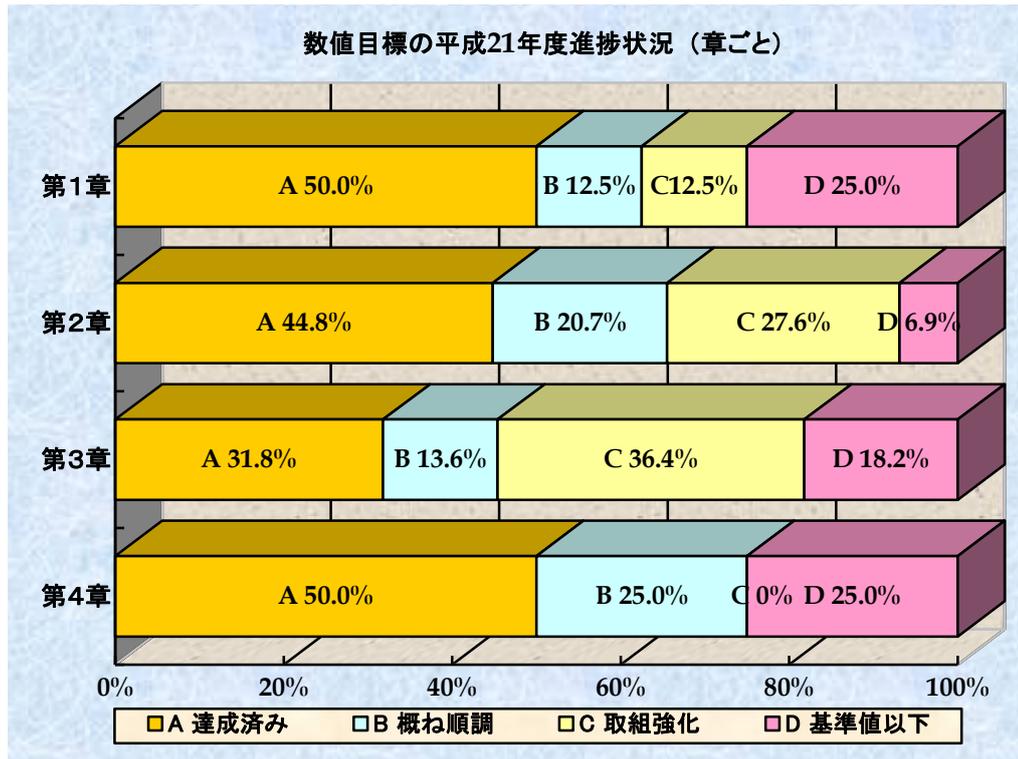
一方で、昨年度と同様に約 4 割の項目が「取組み強化」と「基準値以下」であり、これらについては引き続き目標実現に向けた取組みの強化・充実を図る必要がある。

章ごとに見ると、「達成済み」又は「概ね順調」である項目の割合が最も大きいのが「第 4 章（行政サービス、行財政改革分野）」の 75%であり、次いで「第 2 章（教育、文化、環境、都市基盤、地域連携分野）」の 65.5%、「第 1 章（福祉、保健分野）」の 62.5%となっている。その一方で「第 3 章（経済、産業、都市機能分野）」は、「達成済み」又は「概ね順調」の項目数を合算しても 5 割に達していない状況である。

対象目標数	A 達成済み	B 概ね順調	C 取組み強化	D 基準値以下
第 1 章 16	8 (50.0%)	2 (12.5%)	2 (12.5%)	4 (25.0%)
第 2 章 29	13 (44.8%)	6 (20.7%)	8 (27.6%)	2 (6.9%)
第 3 章 22	7 (31.8%)	3 (13.6%)	8 (36.4%)	4 (18.2%)
第 4 章 4	2 (50.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)
計 71	30 (42.3%)	12 (16.9%)	18 (25.4%)	11 (15.5%)

(注) 表示単位未満を四捨五入してあるので章ごとの割合の合計が100%にならない場合があります。

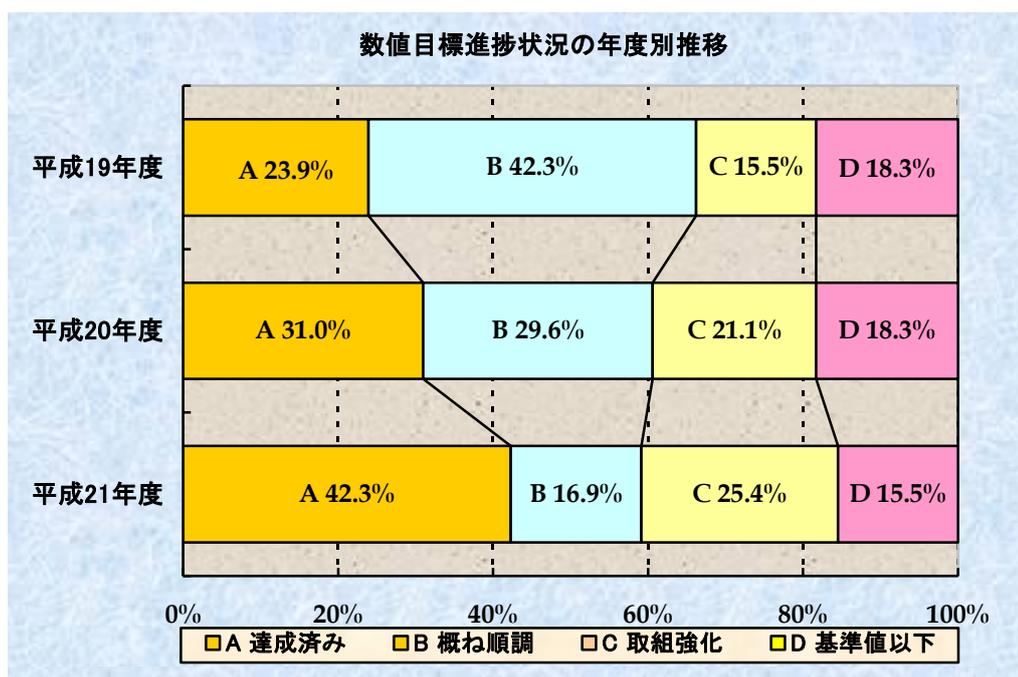




(注) 表示単位未満を四捨五入してあるので章ごとの割合の合計が100%にならない場合があります。

【年度別進捗状況】

年 度	調査対象の数値目標数	A 達成済み	B 概ね順調	C 取組強化	D 基準値以下
平成19年度	71	17 (23.9%)	30 (42.3%)	11 (15.5%)	13 (18.3%)
平成20年度	71	22 (31.0%)	21 (29.6%)	15 (21.1%)	13 (18.3%)
平成21年度	71	30 (42.3%)	12 (16.9%)	18 (25.4%)	11 (15.5%)



5 政策分野別の進捗状況

(1) 第1章 子育てを応援し、お年寄りが元気な米子

<政策分野> 福祉、保健

<数値目標> 16項目

新たに「なかよし学級実施学級数」及び「介護保険利用者における居宅サービス利用率」の2項目が加わり、合わせて8項目（50%）で目標を達成した。

その一方で、「保育所入所待機児童数」、「特定健康診査受診率」、「通所型介護予防事業利用者数」、「国民健康保険料の徴収率（現年分）」の4項目は昨年に続き基準値を下回っている。これらのうち「特定健康診査受診率」は、20年度から制度改正で受診対象者が変更となったため、基本健康診査に比べ受診率が大幅に減少したものであり、受診勧奨等の取組みを強化しているが、数値は依然回復していない状況にある。保育所入所待機児童については、「待機児童解消計画」を策定し、入所定員の増員を計画している。

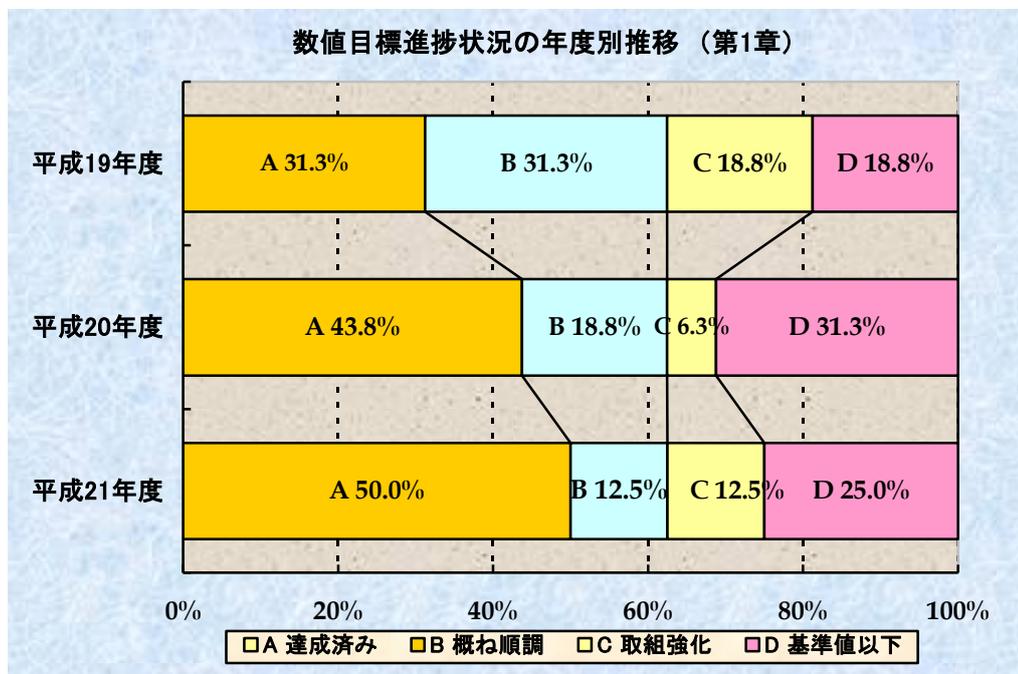
平成21年度 新米子市総合計画(米子いきいきプラン)数値目標進捗状況結果一覧

第1章 子育てを応援し、お年寄りが元気な米子									
指標名	現状値 (17年度)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (22年度)	目標 達成度	昨年度 との比較	
1 「病気予防、健康維持のための日頃の取り組み」をしている市民の割合	65.3%	—	70.2%	70.2%	68.1%	70.0%	B	↘	
2 1歳6ヶ月児健康診査受診率	94.9%	97.3%	96.8%	98.2%	95.5%	97.0%	B	↘	
3 特定健康診査受診率	43.1%	44.8%	43.3%	30.0%	29.8%	55.0%	D	↘	
4 結核予防接種（BCG）累積接種率	97.2%	98.1%	97.5%	98.6%	100.0%	98.0%	A	↗	
5 通所型介護予防事業利用者数	228人	68人	78人	111人	101人	850人	D	↘	
6 介護保険利用者における居宅サービス利用率	77.2%	77.4%	78.2%	77.5%	78.6%	77.6%	A	↗	
7 65歳以上の高齢者のうち、介護保険要介護者にあたらない人の割合	81.0%	80.6%	81.3%	80.7%	81.3%	80.6%	A	↗	
8 認知症予防教室参加者数	—	480人	450人	867人	1,116人	900人	A	↗	
9 認知症高齢者出現率	15.0%	14.0%	13.6%	12.9%	12.9%	15.0%	A	→	
10 「子育て環境整備」に関する市民の「不満足」「やや不満足」の割合	不満足 12.7% やや不満足 22.6%	—	不満足 11.5% やや不満足 18.5%	不満足 11.5% やや不満足 18.5%	不満足 8.0% やや不満足 16.7%	不満足 6.4%以下 やや不満足 11.3%以下	C	↗	
11 保育所入所待機児童数	31人	36人	44人	47人	35人	0人	D	↗	

第1章 子育てを応援し、お年寄りが元気な米子								
指標名	現状値 (17年度)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (22年度)	目標 達成度	昨年度 との比較
12 なかよし学級実施学級数	19箇所	20箇所	21箇所	22箇所	23箇所	23箇所	A	↗
13 障がい者が暮らしやすく、社会参加できる環境が整っていると感じる市民の割合	19.0%	—	17.8%	17.8%	19.7%	25.0%	C	↗
14 福祉ボランティア団体に登録している市民の割合	2.6%	2.8%	2.7%	7.6%	8.2%	5.0%	A	↗
15 国民健康保険料の徴収率(現年分)	88.41%	89.31%	89.36%	86.51%	87.22%	92.00%	D	↗
16 介護保険要介護者認定率	19.0%	19.2%	18.7%	19.3%	18.7%	19.4%	A	↗

【第1章 年度別進捗状況】

年度	調査対象の 数値目標数	A 達成済み	B 概ね順調	C 取組強化	D 基準値 以下
19年度	16	5 (31.3%)	5 (31.3%)	3 (18.8%)	3 (18.8%)
20年度	16	7 (43.8%)	3 (18.8%)	1 (6.3%)	5 (31.3%)
21年度	16	8 (50.0%)	2 (12.5%)	2 (12.5%)	4 (25.0%)



(2) 第2章 ゆとりある心豊かな米子

<政策分野> 教育、文化、環境、都市基盤、地域連携

<数値目標> 29項目

新たに「少年の初発型非行者数」、「市民が週1回以上、スポーツ活動を行っている割合」、「汚水処理人口普及率」、「公共建築物の耐震調査の割合」、「生活排水対策重点地域における施設整備によるBOD汚濁負荷量」の5項目が加わり、合わせて13項目(44.8%)で目標を達成した。

特に、「市民のスポーツ活動の割合」は、市民アンケートの質問に「散歩、ラジオ体操など軽微な運動を含む」と注釈を加えたこともあり、昨年から19.7ポイント増加して48.4%となった。また、「公共建築物の耐震調査の割合」も一挙に11ポイント増加して92%となった。「ごみの削減率」も順調に伸びている。

その一方で「自治会に加入している世帯の割合」は、平成18年度から減少が続いており、加入促進活動への支援など取組みの強化が必要である。

平成21年度 新米子市総合計画(米子いきいきプラン)数値目標進捗状況結果一覧

第2章 ゆとりある心豊かな米子									
指標名	現状値 (17年度)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (22年度)	目標 達成度	昨年度 との比較	
17 人権教育地域懇談会の参加者数	2,741人	2,624人	2,317人	2,256人	2,744人	3,000人	C	↗	
18 男女が平等に生活していく社会づくりが進んでいると思う割合	49.5%	—	50.6%	50.6%	50.7%	60.0%	C	↗	
19 審議会等委員に占める女性の割合	31.4%	31.8%	29.6%	31.3%	31.8%	40.0%	C	↗	
20 児童1人当たりの年間図書貸し出し数	40冊	51.1冊	57.5冊	63.2冊	64.4冊	48冊	A	↗	
21 校内LAN整備率	54.4%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	A	→	
22 学校給食における県内産食材の使用割合	44.8%	51.5%	53.6%	56.3%	60.0%	50.0%	A	↗	
23 生涯学習の機会の提供に満足している市民の割合	18.2%	—	17.6%	17.6%	18.8%	20.0%	C	↗	
24 中高生が子ども会のボランティア活動に参加している人数	200人	267人	317人	237人	317人	350人	B	↗	
25 米子市に住所を有する少年の万引き、自転車盗、置き引きなどの初発型非行者数	179人	145人	114人	125人	91人	120人	A	↗	
26 芸術文化鑑賞機会の提供に満足している市民の割合	16.8%	—	16.3%	16.3%	18.9%	20.0%	C	↗	
27 山陰歴史館・福市考古資料館・淀江歴史民俗資料館の年間入館者数	9,699人	13,155人	12,176人	14,265人	10,321人	30,000人	C	↘	

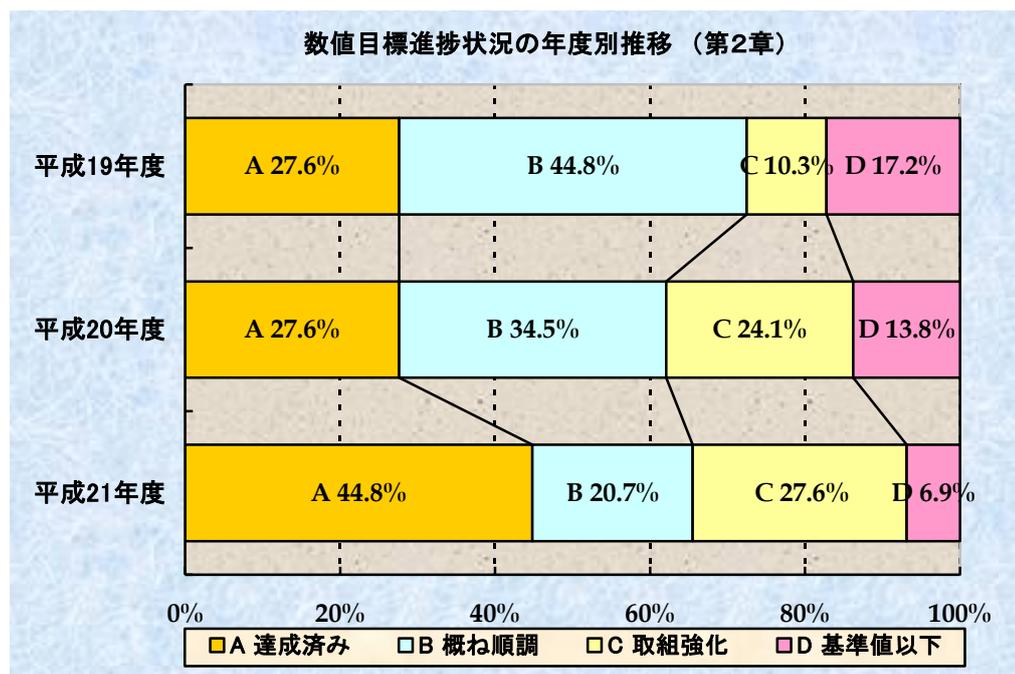
第2章 ゆとりある心豊かな米子

指標名	現状値 (17年度)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (22年度)	目標 達成度	昨年度 との比較
28 「伯耆古代の丘整備事業」の進捗率	9.2%	21.8%	28.1%	36.4%	41.8%	77.0%	B	↗
29 (※注①) 市民が週1回以上、スポーツ活動を行っている割合	21.4%	—	28.7%	28.7%	48.4%	30.0%	A	↗
30 「白浜住宅建て替え事業」の進捗率	0%	0%	44%	100%	100%	100%	A	→
31 「五千石住宅建て替え事業」の進捗率	0%	0%	0%	0%	0%	28%	C	→
32 市民1人当たりの公園面積	10.39㎡	10.70㎡	10.75㎡	10.77㎡	10.76㎡	10.43㎡	A	↘
33 準用河川の改修済み延長 (準用河川区間延長L=17.41km)	8.03km	8.08km	8.13km	8.17km	8.21km	8.28km	B	↗
34 汚水処理人口普及率	68.0%	73.9%	76.0%	82.4%	85.1%	85.1%	A	↗
35 水洗化率	82.8%	82.8%	85.4%	83.4%	84.6%	85.7%	B	↗
36 米子市の景観を魅力的と感じる市民の割合	40.9%	—	44.8%	44.8%	47.4%	43.0%	A	↗
37 平成12年度を基準としたごみの削減率	5%	△4%	16%	18%	21%	8%	A	↗
38 ごみのリサイクル率	16.1%	16.6%	17.9%	16.5%	20.2%	21.0% 以上	B	↗
39 消防団員数	498人	515人	509人	509人	504人	530人	C	↘
40 自主防災組織の結成率	27%	29%	31%	32%	33%	37%	B	↗
41 公共建築物(昭和56年以前に建築)の耐震調査の割合	70%	73%	74%	79%	92%	86%	A	↗
42 交通事故発生件数	1,043件	1,013件	917件	742件	637件	985件	A	↗
43 自治会に加入している割合	73.3%	71.8%	70.5%	69.8%	67.5%	74.1%	D	↘
44 生活排水対策重点地域「加茂川・旧加茂川流域」、「大沢川流域」における施設整備によるBOD汚濁負荷量	加茂川・ 旧加茂川 466.9 kg/日 大沢川流域 560 kg/日	—	461.3 kg/日	453.5 kg/日	396.5 kg/日	439.6 kg/日	A	↗
45 市行造林地内で間伐・枝打ち等の作業を実施する面積	32.53ha	33.8ha	46.67ha	23.48ha	9.39ha	35.00ha	D	↘



【第2章 年度別進捗状況】

年 度	調査対象の 数値目標数	A 達成済み	B 概ね順調	C 取組強化	D 基準値 以下
19年度	29	8 (27.6%)	13 (44.8%)	3 (10.3%)	5 (17.2%)
20年度	29	8 (27.6%)	10 (34.5%)	7 (24.1%)	4 (13.8%)
21年度	29	13 (44.8%)	6 (20.7%)	8 (27.6%)	2 (6.9%)



(3) 第3章 活力みなぎる米子

＜政策分野＞ 経済、産業、都市機能

＜数値目標＞ 22項目

新たに「美保湾岸に設置した漁礁の設置箇所数」及び「中心市街地商店街空き店舗への出店数」「国際交流に参加したことのある市民の割合」の3項目が加わり、合わせて7項目(31.8%)で目標を達成した。

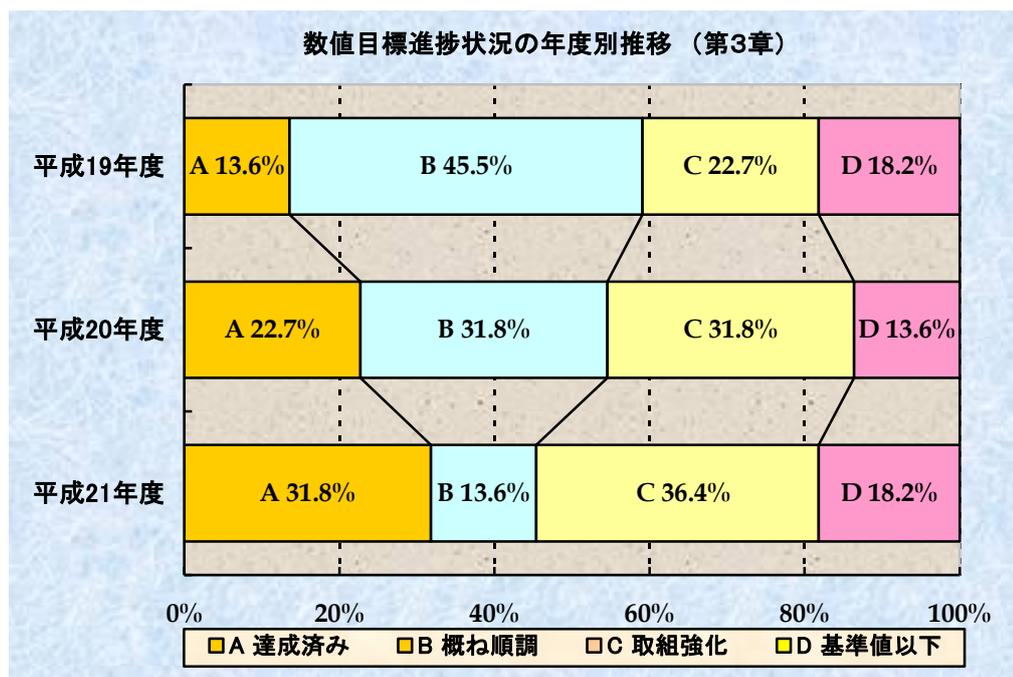
その一方で「皆生温泉宿泊者数」、「米子空港搭乗者数」、「コンベンション開催件数」、「コンベンション参加延べ宿泊客数」の4項目については、基準値に届かないうえに昨年度と比較しても数値が下がっている。これらは、社会経済情勢等の影響を受けやすいものであると考えられるが、関係機関等との連携を図りながら、目標達成に向けて取組みを強化していく必要がある。

平成21年度 新米子市総合計画(米子いきいきプラン)数値目標進捗状況結果一覧

第3章 活力みなぎる米子								
指標名	現状値 (17年度)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (22年度)	目標 達成度	昨年度 との比較
46 担い手の農地利用集積面積が地域の農用地に占める面積の割合	6.1%	7.7%	13.2%	13.6%	13.1%	16.7%	C	↘
47 遊休農地解消面積	—	2ha	8ha	18ha	22ha	23ha	B	↗
48 担い手の数	38 経営体	46 経営体	86 経営体	88 経営体	90 経営体	101 経営体	C	↗
49 農作物を購入する際に地元産を優先する市民の割合	65.0%	—	74.6%	74.6%	71.4%	70.0%	A	↘
50 美保湾沿岸に設置した魚礁の設置箇所数	19箇所	19箇所	20箇所	20箇所	21箇所	21箇所	A	↗
51 皆生漁港の北防波堤の延長	151m	181m	181m	211m	211m	211m	A	→
52 日野川における天然稚鮎の遡上数	5.45万尾	40万尾	60万尾	72万尾	91万尾	100万尾	B	↗
53 中心市街地商店街空き店舗への出店数	20店舗	23店舗	40店舗	44店舗	60店舗	45店舗	A	↗
54 米子流通業務団地への進出率	43.5%	61.8%	77.0%	77.0%	77.0%	100%	C	→
55 工業団地内への立地企業数	144件	145件	145件	145件	145件	150件	C	→
56 地元企業の産学官連携事業数	2件	8件	12件	15件	17件	12件	A	↗
57 企業誘致件数	12企業	12企業	15企業	15企業	15企業	17企業	B	→
58 米子・皆生温泉周辺の観光客入込み客数	138.3万人	137.0万人	130.8万人	121.7万人	139.7万人	150万人	C	↗
59 皆生温泉宿泊者数(入湯税対象客数)	47.8万人	44.7万人	44.7万人	43.6万人	43.0万人	50万人	D	↘
60 米子市の地籍調査進捗率	33%	33.2%	33.8%	33.8%	34.1%	37%	C	↗
61 幹線市道の整備延長 (実延長L=141,922m改良済L=125,105m)	125,105m	125,563m	125,714m	125,784m	125,784m	126,968m	C	→
62 米子空港搭乗者数	47.8万人	49.9万人	50.0万人	48.0万人	44.2万人	55.3万人	D	↘
63 米子市を通るバス路線数	30路線	27路線	27路線	27路線	28路線	30路線	C	↗
64 米子市のケーブルテレビ網カバー率	93.9%	100%	100%	100%	100%	100%	A	→
65 コンベンション開催件数	23件	21件	13件	26件	13件	30件	D	↘
66 コンベンション参加延べ宿泊客数	8,285人	12,447人	4,226人	11,212人	6,966人	10,000人	D	↘
67 (※注①) 国際交流に参加したことの市民の割合	9.1%	—	9.0%	9.0%	11.9%	10.0%	A	↗

【第3章 年度別進捗状況】

年 度	調査対象の 数値目標数	A 達成済み	B 概ね順調	C 取組強化	D 基準値 以下
19年度	22	3 (13.6%)	10 (45.5%)	5 (22.7%)	4 (18.2%)
20年度	22	5 (22.7%)	7 (31.8%)	7 (31.8%)	3 (13.6%)
21年度	22	7 (31.8%)	3 (13.6%)	8 (36.4%)	4 (18.2%)



(4) 第4章 みんなのための市役所

<政策分野> 行政サービス、行財政改革

<数値目標> 4項目

「地方債未償還残高」及び「市税の収納率（現年分）」は目標達成済みでさらに数値を伸ばしている。「人口1万人当たりの職員数」は概ね順調であり、着実に取組みの成果が現れている。

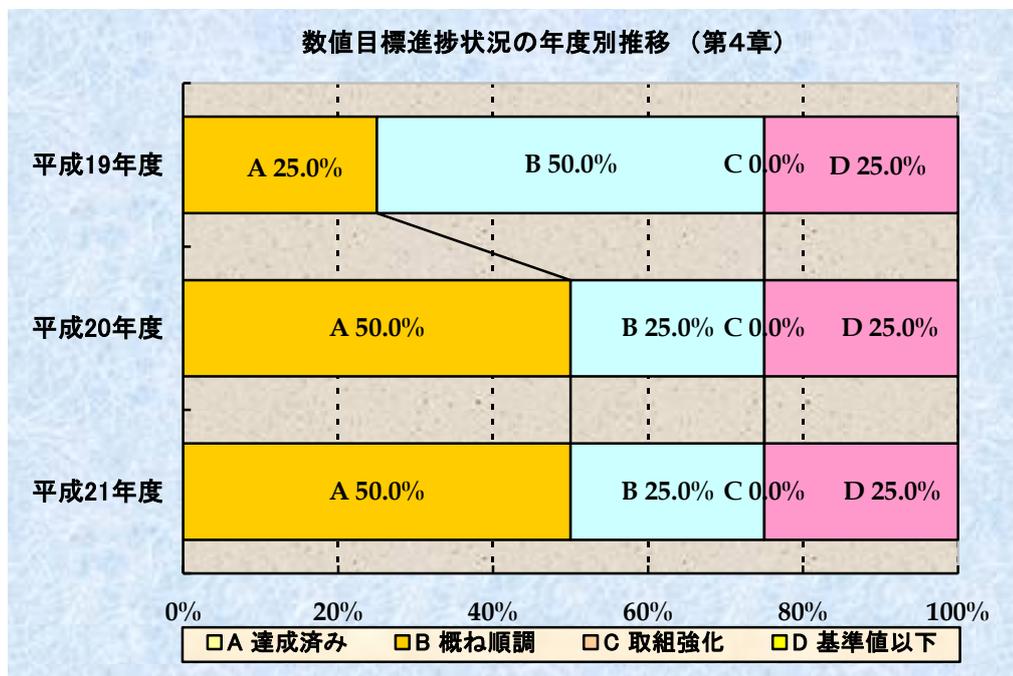
しかしながら「経常収支比率」は基準値を下回り、昨年度と比較しても悪化しているため、引き続き財政健全化に向けた行財政改革の取組みが必要である。

平成21年度 新米子市総合計画(米子いきいきプラン)数値目標進捗状況結果一覧

第4章 みんなのための市役所									
指標名	現状値 (17年度)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (22年度)	目標 達成度	昨年度 との比較	
68 地方債未償還残高 (臨時財政対策債等特別債を除く)	600億円	585億円	588億円	540億円	(※注②) 505億円	560億円 以下	A	↗ □	
69 経常収支比率	87.4%	93.7%	92.8%	93.4%	(※注②) 95.2%	85%以下	D	↘	
70 市税の収納率 (現年分)	97.70%	97.96%	98.01%	98.03%	98.20%	98%以上	A	↗	
71 人口1万人あたりの職員数	69人	68.5人	66.9人	66.2人	65.1人	65人	B	↗	

【第4章 年度別進捗状況】

年 度	調査対象の 数値目標数	A 達成済み	B 概ね順調	C 取組強化	D 基準値 以下
19年度	4	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)
20年度	4	2 (50.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)
21年度	4	2 (50.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)



(※注①) 市民アンケートの数字を実績値としているものであるが、前回(20年)調査時と質問項目が異なっているもの。

(※注②) 暫定値

6 数値目標項目別進捗状況

<1>		担当課		福祉保健部健康対策課			
指 標 名	「病気予防、健康維持のための日頃の取り組み」をしている市民の割合						
指標の説明	市民が健康づくりのため日頃の取り組みを行っている状況を表します。日頃からの運動やさまざまな取り組みが、健康の維持・増進、疾病の予防、そして老年期の寝たきり予防などにつながると考えられていることから、市民の70%が積極的に意識し行動することを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	65.3%	—	70.2%	70.2%	68.1%	70.0%	B
<p>【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康フェスティバルを開催し、健康保持増進の啓発を行った。 平成21年10月実施、延べ参加者数約1,400人 ・ 地区保健推進委員会、食生活改善推進委員会との協働による市民の健康の保持増進を図った。 ・ 特定健診によりメタボリックシンドロームとその予備軍を発見し、基準値以上の者には特定保健指導を実施した。 ・ 各種健康教室を開催し、生活習慣病予防の啓発を行った。 <ul style="list-style-type: none"> いきいき健康ライフ教室 男の料理教室 生活習慣病予防教室 生活習慣病予防食実習 地区健康講座 男性元気アップ教室 各地区公民館祭健康相談への保健師、栄養士の派遣 							
<p>【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】</p> <p>健康フェスティバル、地区保健推進委員会・食生活改善推進委員会等地区組織との協働、各種健康教室の実施など健康づくり意識の普及、啓発に引き続き取り組む。</p>							

<2>		担当課		福祉保健部健康対策課			
指 標 名	1歳6か月児健康診査受診率						
指標の説明	定期的に健康診査を受けることが、健康的な発育に繋がるだけでなく、育児不安の解消をはじめとする総合的な母子保健対策につながることから、医療機関で受診している幼児を除き全ての幼児の受診を目標とします。						

進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
		94.9%	97.3%	96.8%	98.2%	95.5%	97.0%

【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

○取組み状況

- ・ ごみ分別収集カレンダー&健康ガイドに受診日、受診対象幼児の表示を行うとともに、1歳6か月児健康診査対象の全幼児に個別受診案内を送付し受診勧奨を行った。
- ・ 健診未受診幼児の保護者に対し、個別通知により次月の受診勧奨を実施した。
- ・ 次月においても未受診の場合には、保護者に対してアンケートの送付を行い、未受診の理由、幼児の現状把握等の記入を求め、状況把握を行った。

○成果

- ・ 個別通知による受診勧奨結果、未受診児の受診となった。
- ・ 未受診児の保護者からのアンケート回答により、医療機関での経過観察中等未受診児の状況が把握可能となり、それに応じた対応が可能となった。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

上記の取り組みにあわせて、未受診児の保護者に対し、必要に応じて電話連絡、家庭訪問を実施し、幼児、保護者の状況把握を行い、受診勧奨を行う。

<3>

担当課

福祉保健部健康対策課

指標名	特定健康診査受診率						
	指標の説明	<p>特定健康診査はメタボリックシンドロームに着目した健診で、その該当者及び予備軍に対し保健指導を行い、生活習慣の改善を図り、高血圧症や糖尿病、脳血管疾患、心疾患等の生活習慣病を予防することを目的としています。</p> <p>本指標は特定健康診査の受診率を表しており、目標値は米子市国民健康保険特定健診実施計画に基づいています。</p>					
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	43.1%	44.8%	43.3%	30.0%	29.8%	55.0%	D

【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

○取組み状況

対象者全員に受診券の発送や市報・健康ガイド・ホームページ等での周知等の従来の周知方法に加え、実施医療機関訪問を実施し健診の受診勧奨の協力依頼を行ったり、40歳の対象者に対して受診勧奨の案内文を送付したりした。

<p>○成果</p> <p>21年度目標値50%（「米子市国民健康保険特定健康診査等実施計画」における年次目標値）に対し29.8%と受診率は低迷している。</p> <p>※制度の改正により、20年度から対象者及び健診内容の変更があったため受診率が大幅に減少した。</p>
<p>【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】</p> <p>21年度の取り組みに加え、地区保健推進員による呼びかけを強化するなど受診率の向上に向けた啓発、受診勧奨を行う。</p>

<4>

担当課	福祉保健部健康対策課
-----	------------

指標名	結核予防接種（BCG）累積接種率						
指標の説明	結核予防接種を引き続き実施することで、結核の感染、まん延を防止することができるため、結核予防接種累積接種率を0.8ポイント向上させることを目標とします。						
進捗状況	基準値（H17）	18年度実績値	19年度実績値	20年度実績値	21年度実績値	目標値（H22）	目標達成度
	97.2%	98.1%	97.5%	98.6%	100.0%	98.0%	A

【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

○取組み状況

毎月の市報及びごみ分別収集カレンダー&健康ガイドに、集団接種日、接種対象児の表示を行うとともに、19年度から、未接種児の保護者に対して個別通知及び電話連絡を実施し接種勧奨を行った。

○成果

接種率において90%台後半を維持することにより、米子市内において乳幼児の結核発症が皆無となっている。（平成21年度発症0件）

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

上記取組みを今後においても継続し、目標の実現を図る。

<5>

担当課

福祉保健部長寿社会課

指 標 名	通所型介護予防事業利用者数						
指標の説明	この事業の利用者数は当面、基本検診の受診者の5%を目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	228人	68人	78人	111人	101人	850人	D
<p>【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】</p> <p>事業の対象者である特定高齢者の把握数の減少により、事業の利用者が減少した。また、事業の利用期間が3ヶ月から21年度は内容を充実させるために6ヶ月に延長したため、実利用人数が減少した。</p>							
<p>【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】</p> <p>米子市の特定健康診査の受診者が減少傾向にあり、特定高齢者を把握するための介護予防健診受診者も20年度と比較して、約400名減少し10,223人となった。そこで、22年度の介護予防健診方法を見直し、65歳以上（要介護・支援者除く）全ての高齢者に健診票を郵送し回収する方式に改める。受診者及び特定高齢者把握者数の増加を図ることで、事業利用者の増加が見込める。</p>							

<6>

担当課

福祉保健部長寿社会課

指 標 名	介護保険利用者における居宅サービス利用率						
指標の説明	介護が必要になっても住み慣れた地域、居宅の中で可能なかぎり自立した生活が継続できるよう、毎年、0.1ポイント程度の微増を目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	77.2%	77.4%	78.2%	77.5%	78.6%	77.6%	A
<p>【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】</p> <p>介護度の重度化を防止し住み慣れた自宅・地域で生活できるよう、地域住民が主体的に行う「よなGOGO体操」の普及に努めるとともに、21年度からは、公民館等を利用し健</p>							

康運動指導士が地域の高齢者へ体操指導をするなど、身体機能の低下の防止と合わせて、健康意識の啓蒙に取り組んだ。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

引き続き「よなGOGO体操」を始めとする地域での介護予防事業の充実に努めるほか、特定高齢者把握事業の推進を図り、居宅サービス利用率の向上を目指す。

<7>		担当課	福祉保健部長寿社会課					
指 標 名	65歳以上の高齢者のうち、介護保険要介護者にあたらない人の割合							
指標の説明	高齢者になっても生きがいを持って、元気に老後を過ごせる環境づくりを推進することが大切であり、要介護認定率は、平成12年度から7ポイント上昇していますが、各種予防対策を実施することにより、0.4ポイントの上昇に抑制することを目標とします。							
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度	
	81.0%	80.6%	81.3%	80.7%	81.3%	80.6%	A	
【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】								
21年度からは、特定高齢者が利用する通所型介護予防について、それまで3ヶ月を1単位としていたものを内容を充実させ、6ヶ月を1単位として実施しているほか、「よなGOGO体操」の普及と合わせて、市内8箇所で公民館等に健康運動指導士を派遣し月2回健康体操教室「やって未来や塾」を開催している。また、特定高齢者施策の充実のほか、地域での健康増進等事業に取り組み、要支援者・介護者の増加の抑制を図っている。								
【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】								
22年度からは、生活機能評価方法を変更し、より多くの人に基本チェックリストを実施していただくことで、特定高齢者の把握を進めるほか、「やって未来や塾」の市内8箇所から16箇所への拡大実施や、フィットネスクラブ等で実施している「がいなみっく予防トレーニング」の利用者拡大など予防事業の充実に努めることで、元気高齢者の増加を図り、もって在宅で自立して生活できる環境整備を図っていく。								

<8>

担当課

福祉保健部長寿社会課

指 標 名	認知症予防教室参加者数						
指標の説明	地域包括支援センターが認知症高齢者の早期発見・早期治療を図るために実施するスクリーニングにより選定された、認知症になる可能性の高い者を対象とした3ヶ月の予防教室への参加者数						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	—	480人	450人	867人	1,116人	900人	A
<p>【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】</p> <p>市内7校区で地域包括支援センターが認知症予防教室を開催した。タッチパネル式の簡易判定器により抽出した認知症境界層の者を対象に3ヶ月間予防プログラムを実施し、大半の人に改善が見られた。</p>							
<p>【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】</p> <p>健診受診者の増加を図るため、認知症を理解するための講習会など公民館で開催する他、地域で認知症の広報をする認知症サポーターを養成するなど、地域住民への広報活動を充実させる。</p>							

<9>

担当課

福祉保健部長寿社会課

指 標 名	認知症高齢者出現率						
指標の説明	身体的には自立しているものの、認知症が見られる高齢者の割合を表します。予防対策により、現状維持を目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	15.0%	14.0%	13.6%	12.9%	12.9%	15.0%	A

【21 年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

認知症対策については、21 年度から 23 年度に国が実施する認知症対策連携強化事業に取り組み、ふれあいの里地域包括支援センターに国が地域の認知症対策の中心機関として指定した認知症疾患医療センターから派遣を受けた 2 名の認知症連携担当者を配置し、認知症の早期発見、予防対策の早期実施などを図るため、地域のかかりつけ医や地域包括支援センターなどと疾患医療センターが円滑に連携するような地域医療システムを構築し、地域における認知症医療水準の向上を図っている。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

認知症の早期発見、予防対策の早期実施などを図るための地域医療システムを構築するとともに、全ての高齢者を対象にした認知症検診の実施について、検討していく。

<10>

担当課 福祉保健部こども未来課

指 標 名	「子育て環境整備」に関する市民の「不満足」「やや不満足」の割合						
指標の説明	安心して出産や育児のできる環境づくりに向けた施策の充実を図り、「不満足」「やや不満足」と感じる市民が、基準値の半分以下になることを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18 年度 実績値	19 年度 実績値	20 年度 実績値	21 年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	不満足	—	不満足	不満足	不満足	不満足	C
	12.7%		11.5%	11.5%	8.0%	6.4%	
	やや不満足		やや不満足	やや不満足	やや不満足	やや不満足	
22.6%		18.5%	18.5%	16.7%	11.3%		

【21 年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

17 年度から 21 年度までの米子市次世代育成支援行動計画（前期計画）に基づき、次代を担う子供を健やかに育てるための環境づくりを行うとともに、前期計画の見直しを行い、22 年度から 26 年度までの米子市次世代育成支援行動計画（後期計画）を策定した。

- ・ 大和保育園内に「子育て支援室やまと」を開設
- ・ なかよし学級 1 箇所増
時間延長（午後 5 時～6 時） 3 箇所実施
- ・ 次世代育成支援対策交付金 69,558 千円により、ショートステイほか各種子育て環境整備事業を実施

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

22 年度から 26 年度までの米子市次世代育成支援行動計画（後期計画）に基づき、地域における子育て支援の充実や母子の健康確保、教育環境や生活環境の整備、仕事と子育ての両立の推進等について関係機関が連携を図り推進する。

<11>

担当課

福祉保健部こども未来課

指 標 名	保育所入所待機児童数						
指標の説明	少子化が進む中、その対策として男女ともに子どもを育てながら働き続けられる環境整備が重要で、保育所入所待機児童（入所希望者数から入所者数を差し引いた入所保留数）の解消が求められていることから、保育所入所待機児童をなくすことを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	31人	36人	44人	47人	35人	0人	D
【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】 「保育所待機児童を平成24年度にはゼロ」を目指し、待機児童解消計画を策定した。							
【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】 待機児童解消計画を策定し、認可保育所の施設整備及び認定こども園により22年度及び23年度で保育所の入所定員を、0歳～2歳を115人、3歳～5歳を95人、計210人増やすこととした。							

<12>

担当課

福祉保健部こども未来課

指 標 名	なかよし学級実施学級数						
指標の説明	放課後、児童に健全な育成環境と遊びの場を提供するため、なかよし学級の設置が求められており、市内すべての小学校23校になかよし学級を設置することを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	19箇所	20箇所	21箇所	22箇所	23箇所	23箇所	A
【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】 大篠津小学校の敷地内に大篠津なかよし学級を設置し、21年9月より児童の受け入れを開始した。これにより市内すべての小学校区でなかよし学級が開設し、目標達成した。							

<13>

担当課

福祉保健部障がい者支援課

指 標 名	障がい者が暮らしやすく、社会参加ができる環境が整っていると感じる市民の割合						
指標の説明	障がい者が暮らしやすく、社会参加しやすい環境をハード・ソフトの両面から整えていくことが必要とされており、市民の4人に1人が肯定的に評価することを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	19.0%	—	17.8%	17.8%	19.7%	25.0%	C
<p>【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】</p> <p>相談支援事業、コミュニケーション支援事業、就労支援事業など障がい者が地域で安心して生活していただくための施策の充実を図るとともに、障がい者に対する理解を深めてもらうよう『米子市福祉の集い』及び『福祉大会等への助成』を実施し、市民の啓発に努めた。</p>							
<p>【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】</p> <p>障がい者が積極的に社会参加するためには、市民の障がい者に対する理解が不可欠であり、今後も各種の大会、行事等で市民に対する広報・啓発を一層進めていく。</p>							

<14>

担当課

企画部市民自治推進課

指 標 名	福祉ボランティア団体に登録している市民の割合						
指標の説明	日常的な生活を送る上で何らかの支援を必要とする人が、住みなれた地域社会で安心して快適に生活できる社会づくりを進めるには、ボランティア活動が、今後ますます期待され、必要となってきていることから、市民の5%の方が福祉ボランティア団体に登録することを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	2.6%	2.8%	2.7%	7.6%	8.2%	5.0%	A

【21 年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

従前の福祉ボランティア活動の支援だけでなく、様々な分野でのボランティア活動に対応できる相談窓口を充実させるため、20 年度に米子市福祉保険総合センター条例の一部を改正し、米子市福祉ボランティアセンターを米子市ボランティアセンターに改名、所管も障がい者支援課から協働推進課へ移行しており、以降、市民からのボランティアの問い合わせについてはボランティアセンターを紹介し、ボランティアセンターでの対応をはかることで助言や情報提供などの相談を行っている。

また、ボランティアセンターへの委託によるボランティア入門講座及びリーダー養成講座を開講し、月刊情報誌の発行及びボランティア情報掲示板等による広報を継続実施している。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

地域福祉計画・地域福祉活動計画により、地区公民館単位で地域住民による福祉活動の推進を目指すとともに、福祉・保健・医療・観光・スポーツ・防災・文化・環境・教育その他を含む総合的なボランティア活動を行う人にボランティア登録の働きかけを行う。

<15>

担当課

市民生活部保険年金課

指 標 名	国民健康保険料の徴収率（現年分）						
指標の説明	健全な財政運営を確立するためには、保険料の徴収率を向上させることが必要であることから、徴収率の 3.59 ポイント増を目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18 年度 実績値	19 年度 実績値	20 年度 実績値	21 年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	88.41%	89.31%	89.36%	86.51%	87.22%	92.00%	D

【21 年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

1. 取組み状況

(1) 新規滞納発生後の迅速な対応

新規滞納者が発生した場合、担当職員による電話催告、徴収員と連携した訪問徴収を迅速に実施した。

(2) 口座振替の勧奨

新規に国民健康保険加入者に対して、窓口で口座振替依頼書を手渡して勧奨すると共に、保険証更新時に口座振替勧奨案内通知を送付した。

(3) 本市の広報媒体を利用した広報

「広報よなご」及び「よなごの国保」並びに「米子市ホームページ」に国民健康保険料の納期月及び納付相談等の記事を掲載した。

<p>(4) 夜間一斉催告</p> <p>現年分滞納者に対して年6回、計20日間にわたり、平日夜間に電話催告を実施した。また、1月の5日間については、管理職による夜間電話催告を実施した。</p> <p>2. 成果</p> <p>新規滞納者に対して、迅速な電話・訪問などにより納付相談を行うことが出来たため、昨年に比較して0.71%徴収率が増加した。</p>
<p>【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】</p> <p>1. 方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規滞納者の増加を防止するため、現在滞納カード出力後速やかに徴収員と連携して夜間一斉電話催告、訪問徴収を行っている。約束を履行しない滞納者、所在が不明な滞納者、昼間就労している滞納者などに対する折衝強化を図るため、再度の電話・催告・現地調査の実施、情報収集、夜間相談窓口の開設などを行う。 ・被保険者間の負担の公正を確保する必要から、所得が高いのに納付意志のない悪質な滞納繰越者に対して、世帯の状況・納付資力の調査・把握などを行い、厳正な滞納処分の執行を行う。 ・22年度に導入予定の滞納管理システムによる滞納管理が適正に実施できるように運用の整備を図る。 <p>2. スケジュール</p> <p>早期折衝（9月～3月）、夜間一斉催告（9月～5月）、厳正な滞納処分の執行（随時）、滞納管理システムの導入（1月）</p> <p>3. 方向性</p> <p>国民健康保険料の徴収率を向上させ、国民健康保険財政の更なる健全化を図る。</p>

<16>		担当課	福祉保健部長寿社会課					
指標名	介護保険要介護者認定率							
指標の説明	介護保険制度の円滑な事業運営を図るため、要介護者にならないために予防や悪化防止に努めることが必要であり、予防対策の実施により、0.4%増に抑えることを目標とします。							
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度	
	19.0%	19.2%	18.7%	19.3%	18.7%	19.4%	A	

【21 年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

21 年度からは、特定高齢者が利用する通所型介護予防について、それまで 3 ヶ月を 1 単位としていたものを内容を充実させ、6 ヶ月を 1 単位として実施しているほか、「よな GOGO 体操」の普及と合わせて、市内 8 箇所で公民館等に健康運動指導士を派遣し月 2 回健康体操教室「やって未来や塾」を開催している。また、特定高齢者施策の充実のほか、地域での健康増進等事業に取り組み、要支援者・介護者の増加の抑制を図っている。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

22 年度からは、生活機能評価方法を変更し、より多くの人に基本チェックリストを実施していただくことで、特定高齢者の把握を進めるほか、「やって未来や塾」を市内 8 箇所から 16 箇所への拡大実施やフィットネスクラブ等で実施している「がいなみっく予防トレーニング」の利用者拡大など予防事業の充実に努めることで、元気高齢者の増加を図り、もって在宅で自立して生活できる環境整備を図っていく。

<17>

担当課

人権政策局人権政策課

指 標 名	人権教育地域懇談会の参加者数						
指標の説明	町区単位で行う人権教育の地域懇談会						
進捗状況	基準値 (H17)	18 年度 実績値	19 年度 実績値	20 年度 実績値	21 年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	2,741 人	2,624 人	2,317 人	2,256 人	2,744 人	3,000 人	C

【21 年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

市内 27 地区の人権・同和教育推進協議会に懇談会開催を委託し、市内 84 箇所で実施した。米子市人権施策・人権教育基本方針に定める人権分野について、住民相互の話し合いの中から気づきが生まれ、一人ひとりがつながりあって、家庭・地域を住みよい場所にしていくよう懇談会をすすめた。

アンケートによると参加した住民のほとんどが「このような懇談会は必要である。」との回答を得ている。(21 年度 79%、20 年度 75%) 身近な地域での学びあいの場として有意義な懇談会であった。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

小地域懇談会を「家庭・地域を住みよい場所にしていくために、地域での人権学習そして誤解・偏見に気づく場を確保する」と位置付け、目標実現のためには対象地域をより身近な自治会にしぼり、開催場所も自治会公民館等を利用するなど地域住民が参加しやすいようにする。また、懇談会実施の際、事前準備を地域と共に周到に行い、参加者が地域の実態に合

ったテーマ選定や講演会、ビデオ学習、グループ討議などの手法・プログラムを取り入れ、小地域懇談会をより身近な問題を話し合う場として、今まで参加のない方をひとりでも多く参加してもらえよう取り組むと共に、事前広報などに努める。

また、市報や米子市人権情報センターホームページなどで人権教育地域懇談会の内容や意義などについて広く知らせる。

<18>

担当課

人権政策局男女共同参画推進課

指標名	男女が平等に生活していく社会づくりがすすんできていると思う割合						
指標の説明	男女平等社会がどれくらい進んだかを示し、市民の60%が進んだと感じられることを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度実 績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	49.5%	—	50.6%	50.6%	50.7%	60.0%	C
【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】							
1 男女共同参画啓発事業の実施							
(1) 男女共同参画週間イベント(H. 21. 6. 23~29)							
(男女共同参画パネル展示、映画上映会、しゃべって未来や)							
(2) 市報等での広報							
(3) しゃべって未来や(5回)(講演と意見交換会)							
(4) かぶりあ祭の開催(H22. 3. 7)							
(男女共同参画推進イベントの開催、市民参加による意見交換会、利用登録団体の活動報告・発表展示)							
2 男女共同参画推進計画の進行管理							
(1) 施策の実施状況を調査し審議会で審議した後、人権施策推進会議へ報告							
3 米子市男女共同参画推進条例の公布(H22. 3. 26)							
【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】							
1 男女共同参画啓発事業の充実							
2 米子市男女共同参画センターを利用したの情報提供、事業の実施							
3 男女共同参画推進条例の施行(H22. 4. 1)と制定記念イベントの実施							
4 各担当課との連携強化							
5 企業に対する男女共同参画に関する実態調査の実施							

<19>

担当課

人権政策局男女共同参画推進課

指標名	審議会等委員に占める女性の割合						
指標の説明	各審議会等委員の男女比をどちらかが 40%以上 60%以下になることを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度実 績値	21年度実 績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	31.4%	31.8% (18.6.1 現在)	29.6% (19.6.1 現在)	31.3% (20.4.1 現在)	31.8% (21.4.1 現在)	40.0%	C
<p>【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織・委員データを各審議会等所管課から収集し、周知啓発 ・チェックシートを使った職場評価の実施 ・米子市女性人材バンク登録について市民への啓発 登録者数 38名 (うち審議会等委員へ5名推薦) <p>【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米子市審議会等委員選任基準等の遵守の徹底 ・米子市女性人材バンク事業の充実 ・人材発掘と登録に向けた市民啓発 ・登録者活用に向けた各課との連携 							

<20>

担当課

教育委員会学校教育課

指標名	児童1人当たりの年間図書貸し出し数						
指標の説明	子どもたちの自ら学ぶ意欲や個々の能力を伸ばすため、学校図書館教育の充実に努めていることから、児童1人当たり年間8冊の増加を目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度実 績値	21年度実 績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	40.0冊	51.1冊	57.5冊	63.2冊	64.4冊	48.0冊	A

【21 年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

学校の図書購入費を確保するとともに、学校図書職員及び司書教諭を対象とした学校図書館教育研修事業を引き続き実施することで、学校図書館の充実を図った。

学校教育活動のなかでは、従来から朝の読書の取組やブックトーク、ストーリーテリングを実施したり、地域の人などに読み聞かせボランティアをお願いするなどして、子どもたちの読書意欲を高めるよう努めている。

また、子どもたちが借りたい本が学校にない場合は、市立図書館や他校から借りられるレファレンスサービスの制度も設けている。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

今後も引き続き学校図書館の充実を図っていくとともに、子どもたちの読書意欲を高めるため、朝の読書やブックトーク、ストーリーテリング、読み聞かせボランティア、レファレンスサービスなどの取組を推進することにより、目標を達成できるよう努力したい。

※ブックトーク…一定のテーマを立てて一定時間内に何冊かの本を複数の聞き手に紹介する行為。

※ストーリーテリング…朗読と異なり、物語を暗記して、子どもたちの目を見ながら語るもの。効果として、聞き手の関心を引きやすいことや記憶に残りやすいことなどが上げられる。本市では、20 年度から導入した。

<21>

担当課

教育委員会教育総務課

指 標 名	校内 LAN 整備率						
指標の説明	すべての学校からインターネットを利用した学習が行えるよう、校内 LAN の整備を行ってきており、市内すべての小学校 23 校に校内 LAN を整備することを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18 年度 実績値	19 年度 実績値	20 年度 実績値	21 年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	54.4%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	A

【21 年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

18 年度中に市内すべての小学校に校内 LAN を整備し、目標達成した。

<22>

担当課

教育委員会学校給食課

指 標 名	学校給食における県内産食材の使用割合						
指標の説明	郷土の産業や食文化への理解を深めるという教育的効果や生産者の顔が見える安全・安心で新鮮な食材の提供、地場農林水産物の消費拡大の観点から地産地消を推進してきており、給食食材の半分は県内産品を使用することを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	44.8%	51.5%	53.6%	56.3%	60.0%	50.0%	A

【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

J A鳥取県中央会食材コーディネーター、鳥取県食のみやこ推進室の方々からも協力を得ながら、情報収集や意見交換を行った。また国の緊急経済対策事業である地場農畜産物利用拡大事業（21年度及び22年度のみ実施）に参加した。これらの取組みにより、食材の旬に合わせた献立の作成や、地元の産品を使った加工食品の利用ができたこと等により使用率の拡大につながった。

また、中海圏域定住自立圏構想に係る食材交流事業を実施した。

具体例としては、20年度途中から県内産の材料で加工した味噌を使用している。また、21年度途中から県内産米を使用した米粉パンを月一回の割合で提供している。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

給食の食材調達（約1万食/日）は天候等に左右されるところも大きく、また1食当たりの単価に制約がある中で献立作成（食材調達）を行っている。

21年度は実績が目標を大きく上回っているが、鳥取県の目標値（24年度60%）にも留意しながら引き続き上述の取組みを行うこと等により、実績の維持を目指す。

<23>

担当課

教育委員会生涯学習課

指 標 名	生涯学習の機会の提供に満足している市民の割合
指標の説明	多様な学習機会や生涯学習に関する情報を市民に提供し、市民の自主的な活動に発展するような取組を行っており、5人に1人の市民が満足している状況を目標とします。

進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
		18.2%	—	17.6%	17.6%	18.8%	20.0%

【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

- 1 米子人生大学（15回開催）
登録者数 481人、延べ参加人数 4,135人、出席率 68.2%
登録者数は前年比4.8%増、平均参加者数は12.1%減となっている。
- 2 よなごアカデミー（4テーマ、延べ12回開催）
登録者数 171人、延べ参加人数 386人、出席率 75.2%
- 3 タムタムスクール（延べ10回開催）
延べ登録者数 287人、延べ参加人数 205人、延べ託児数 146人
出席率 71.4%
受講希望は多いが、託児数に制限があり定員制をとっている。
- 4 公民館社会教育講座（各館平均15回、延べ429回開催）
開催回数が前年比0.7%減となっている。
1館当たり60～80人の受講生があり、多様な学習に取り組んでいる。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

関係機関等との連携など工夫をこらし、開催回数、講座内容の維持、さらには講座内容の充実を図ることにより、生涯学習の機会の提供に係る満足度を高める。

指標名		担当課 教育委員会生涯学習課						
		基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
中高生が子ども会のボランティア活動に参加している人数								
指標の説明		体験・交流活動を通じて、青少年の奉仕の心や豊かな心を育てる取り組みを行っていることから、中高生が子ども会のボランティア活動に参加する人数について、75%増を目標とします。						
進捗状況		200人	267人	317人	237人	317人	350人	B
【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】								
①活動支援 米子市ジュニアリーダーズクラブ(以下JLC、中高生のボランティアグループのこと)は、世代交代により経験の浅い中学生が多くなったことで、20年度は減少したが、従来の受付だけでなく派遣者の募集、日程調整を事務局が行うように変更したことや、毎月1回								

実施しているJLC定例会に事務局が参加して助言・指導を行ったこと、ジュニア同士の交流会を行って親睦を深めると共に、メンバーの能力向上の為に県・中四国の研修にも参加するよう呼びかけ、参加者が自信を持って活動できる環境作りに努めるなどした結果、21年度は19年度実績値と並ぶまで回復した。

②21年度に発生した課題に対する対応

JLC派遣依頼が増える一方で、ジュニアの負担が増えるなど課題が浮き上がってきた。ジュニアのサポート体制の充実と円滑な事業運営のため、米子市子ども会育成会の役員による「ジュニアサポート委員会」の22年度設置にむけて準備を進めた。

③取組み内容

- ・毎年4月に市内の全子ども会の役員を対象に実施する研修会で、JLCのPRを行い、ボランティア活動する場の確保に努めた。
- ・小学5・6年生を対象にした子ども会リーダー育成研修の実施にジュニアリーダーが参画し、研修修了者が中学生になったときJLCに参加するように呼びかけた。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

21年度を取組みを引き続き実施し、参加人数の増加を図る。

<25>

担当課

教育委員会生涯学習課

指標名	米子市に住所を有する少年の万引き、自転車盗、置き引きなどの初発型非行者数						
指標の説明	声かけ運動をはじめとする様々な活動を通じて、青少年の非行防止に取り組んでおり、初発型非行者数を3分の2に減らすことを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	179人	145人	114人	125人	91人	120人	A

【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

- ・健全育成及び非行防止を呼びかけるチラシを小中高入学生及び中学卒業生の全員に配布した。
- ・少年指導委員を委嘱し、中学校区ごとに活動費補助金を交付した。地域の大人全体で青少年を見守り育てる雰囲気醸成に努めた。
- ・警察、教員と合同で補導を実施し、駅前及び大型店舗等、子ども達が集まる場所を巡回し、児童・生徒に声かけをした。

- ・青少年が立ち寄る店舗や、青少年には好ましくない施設の状況調査を実施し、補導の参考にした。
- ・児童・生徒・保護者・地域住民を対象とした広報紙に青少年啓発記事を掲載した。
- ・街頭での「愛の一声運動」の際などで、相談先等を記載したメッセージカードを配付（作成）し、非行防止に係る早期相談の促進に努めた。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

21年度の取組みを、引き続き実施し、初発型非行者数の減少に努める。

<26>

担当課

教育委員会文化課

指 標 名	芸術文化鑑賞機会の提供に満足している市民の割合						
指標の説明	文化施設を利用して、鑑賞・普及・学習の推進を図っており、5人に1人の市民が満足していることを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	16.8%	—	16.3%	16.3%	18.9%	20.0%	C

【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

○美術館事業 …継続事業のほか、中央の文化芸術に触れる機会を提供し好評を博した。

- ・常設展「美人図鑑」、「アートで四季めぐり」、「香田勝太と麓人会の仲間たち」
- ・普及事業「ミュージアムスクール」全5回
- ・企画展「鳥取県立博物館所蔵美術品展～交響するととりの美～」、
「こども彫刻フェア」
- ・特別展「ネオテニー・ジャパン 高橋コレクション」
- ・市展、県展

○ホール事業 …芸術文化の鑑賞機会の提供を図った。

- ・米子市音楽祭、童謡講座、ユースオーケストラ演奏会、なつかしの映画、こども映画の上映会、弦楽の響きコンサート、ロビーコンサート、大谷康子ファミリーコンサート、三枝成彰・辰巳琢郎の宝くじおしゃべり音楽館 等

○学校公演事業 …児童が本物（生）の芸術を鑑賞する機会を提供した。（市内各小学校）

- ・アコーディオンコンサート、邦楽公演、児童劇公演（5公演）

○秋の文化祭 …64団体の参加により75事業を実施し、広く市民に文化に親しむ機会を提供した。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

引続き美術館・文化ホール等文化施設において、継続事業、企画事業を実施する。今後もアンケート、聞き取り調査等をふまえ、市民に親しまれ支持される事業展開や集客に努める。また、新聞社等との共催事業で広報の充実を図り、市民が芸術文化を鑑賞する機会の拡充に努める。

<27>

担当課

教育委員会文化課

指 標 名	山陰歴史館・福市考古資料館・淀江歴史民俗資料館の年間入館者数						
指標の説明	歴史的文化遺産を適切に保護するとともに、施設での展覧会や講座、教室の開催による普及活動を行って、現在の約3倍の入館者数を目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	9,699 人	13,155 人	12,176 人	14,265 人	10,321 人	30,000 人	C

【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

特別企画展「戦争の記録展—米子市民の生活と戦争—」は、集客には結びつかなかったが、寄せられたアンケートには、市民の今日の平和を強く意識され、戦争の風化を危惧し、次代への継承を訴えられたものが多くみられた。

展示事業では、実績を下回ることもあったが、教育普及活動、体験型の講座や、史跡等を巡る解説イベントでは、参加者を充足している。また、9月に発足した「米子市歴史館友の会」のメンバーも着実に増えており、歴史館各館の支援の輪が広がりつつある。

各館常設展、上記特別展のほか、以下の事業を実施した。

○山陰歴史館 「企画展米子今昔—昭和の学びや」「特別展・素鳳展」「企画展伝統の和傘の美を求めて—淀江和傘展」等 11事業

○福市考古資料館 「企画展遺跡保存にかけた人々—国史跡福市・青木遺跡保存の軌跡—」「学術講演会 米子の近代建築旧米子市庁舎を中心に」等 8事業

○淀江歴史民俗資料館 「特別移動展「変わりゆく郷土 写真で見るとっとり1968-2008」「淀江歴史民俗資料館歴史探訪」等 4事業

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

20年度と比べ来館者が大きく減少したが、上淀廃寺跡ガイダンス施設建設工事の進捗に伴い、淀江歴史民俗資料館が休館措置をとったことによる影響が大きいと考えられる。

目標実現のため、より一層の活動を行なうとともに、3館固有の特徴を維持させつつ、長期的展望をもったシリーズの企画や地域にアピールする企画に取り組みながら、出前講座、史跡探訪などの館外活動に一層取り組む計画である。

<28>

担当課

教育委員会文化課

指 標 名	「伯耆古代の丘整備事業」の進捗率						
指標の説明	史跡上淀麿寺跡・向山古墳群の環境整備及び買上の進捗率						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	9.2%	21.8%	28.1%	36.4%	41.8%	77.0%	B
<p>【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】</p> <p>史跡上淀麿寺跡の環境整備（史跡整備・ガイダンス関連工事）を実施した。</p> <p>○史跡整備工事 主に中心伽藍東側（東築地・側溝等）を対象とした地形復元工・遺構表示工・園路工・植栽工・雨水排水工、解説板の制作設置、解説広場周辺及び中高木植栽の実施設計を実施した。</p> <p>○ガイダンス施設関連工事（淀江歴史民俗資料館の増改築） 2年計画の1年次として、ガイダンス施設の建築工事に着手、改修棟の解体工、新築棟の土工・基礎工を実施、また展示の実施設計を行った。</p>							
<p>【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】</p> <p>○史跡上淀麿寺跡環境整備 22年度：ガイダンス施設建設・展示工、 II工区（追加指定地）の基本計画策定、管理活用計画の策定 23年度：解説広場等環境整備、トイレ建設、パンフレット・事業報告書刊行</p> <p>○史跡向山古墳群環境整備 24～25年度</p> <p>○その他 並行してソフト事業を展開</p>							

<29>

担当課

教育委員会体育課

指 標 名	市民が週1回以上、スポーツ活動を行っている割合
指標の説明	心身の健康の保持・増進のため、スポーツ団体等との連携を図りながら、全ての市民が気軽にスポーツを楽しめる環境づくりに努めていることから、3割の市民が週1回以上スポーツ活動を行うことを目標とします。

進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
		21.4%	—	28.7%	28.7%	48.4%	30.0%

【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

スポーツ活動の推進を図る主な取組み

○少年野球大会、市民レガッタ、バレーボール小学生大会、親子体カづくり大会、ミニバスケットボール大会、インディアカ大会、正月マラソン大会、ドッジビー大会、米子読売マラソン大会、スポーツ少年団交流大会、体カテスト会、体カづくり歩け歩け大会

以上 主催大会の参加者 合計 4,306 人

○ラグビースクール、少年柔道教室、少年剣道教室、陸上競技教室、ミニバススクール、ジュニア体操教室、飛び込み教室(選手コース、ノビスコース)、夏期少年スポーツ教室(テニス、バドミントン) 以上 9 教室の開催。参加者計 371 人、延べ 8,418 人

○8 競技種目の市民体育祭を実施。(239 チーム、参加者 2,470 人)

本市のアンケート調査を行う際に、スポーツ活動の具体的な注釈として、「散歩、ラジオ体操など軽易な運動を含む」を加えたこともあり、目標値を達成した。

(参考)

鳥取県の実施する『県民の運動・スポーツに関する調査』においても、運動・スポーツの定義を幅広く捉えており、週 1 回以上の割合が 51.7%と本市と同様の傾向にある。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

引き続き、市民の身近なスポーツ活動の場としての体育施設の整備をする。特に、老朽化した施設が多いので、安心・安全を第一に、特に大規模修繕等年次的な整備を心がける。

また、従来から行っている市主催の各種大会、教室、講習会等を通じて、市民のスポーツの活動への意識啓発を推進していく。

指標名		担当課 建設部建築住宅課						
		基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
「白浜住宅建替事業」の進捗率								
指標の説明		計画期間中に予定戸数の建替を完了することを目標とする。						
進捗状況		0%	0%	44%	100%	100%	100%	A
【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】								
20 年度に全て完了し、目標達成した。								

<31>

担当課

建設部建築住宅課

指標名	「五千石住宅建替事業」の進捗率						
指標の説明	計画期間中に予定戸数の28%を建て替えることを目標とする。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	0%	0%	0%	0%	0%	28%	C
<p>【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建替基本設計完了 ・地質調査完了 ・敷地測量完了 <p>事業の実施に遅れが生じており、22年度終了時点での建設戸数が見込めない。 しかしながら、設計及び一部除却等の事業は完了する予定である。</p>							
<p>【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】</p> <p>22年度 建替（1期）分（2棟 33戸）の実施設計、及び既設住宅4棟（24戸）の除却工事を実施予定。 23年度には1期分が完成する予定である。</p> <p>（参考）17年度当初計画 20年度 基本設計、実施設計、地質調査 21年度 建替（1期）工事 38戸着手 22年度 建替（1期）工事 38戸完成</p>							

<32>

担当課

建設部維持管理課

指標名	市民1人当りの公園面積						
指標の説明	市民が利用できる都市公園の市民1人当りの面積を表しています。計画期間内に市民1人当たり0.04㎡増やすことを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	10.39㎡	10.70㎡	10.75㎡	10.77㎡	10.76㎡	10.43㎡	A

【21 年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

既存公園（東山公園・日野川緑地等）の追加供用により 18 年度に目標達成した。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

目標値は達成しているが、市民が安心して快適に過ごせる都市空間を形成するため、さらなる整備が必要である。特に市民の日常生活に身近な街区公園の整備を図る。

<33>

担当課

建設部維持管理課

指 標 名	準用河川の改修済み延長（準用河川区間延長 L=17.4km）						
指標の説明	計画期間内に 0.25km 延長することを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18 年度 実績値	19 年度 実績値	20 年度 実績値	21 年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	8.03km	8.08km	8.13km	8.17km	8.21km	8.28km	B

【21 年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

橋梁整備と共に護岸整備（36m）を行った。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

引き続き、準用河川堀川改修事業を実施し、市民生活の安全と災害に強い基盤整備のため、慢性的な上流流域の浸水被害の解消を図る。

22 年度事業内容

- ・堀川 4 号橋 橋梁上部工、橋梁下部工の改修

<34>

担当課

下水道部計画整備課

指 標 名	汚水処理人口普及率
指標の説明	本市の人口のうち、汚水処理施設を使えるようになった市民の割合を表します。

進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
		68.0%	73.9%	76.0%	82.4%	85.1%	85.1%
【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】 汚水処理施設(公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽等)の計画的な整備を進めており、21年度の整備面積は77ha。							
【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】 米子市下水道事業「中・長期事業計画」に基づき、今後1年間に約60haずつ整備を行っていく。							

<35>

担当課

下水道部施設課

指標名	水洗化率						
指標の説明	汚水処理施設を使えるようになった市民のうち、水洗便所に改造し、汚水処理施設に接続した割合を表す。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	82.8%	82.8%	85.4%	83.4%	84.6%	85.7%	B
【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】 工事説明会、環境フェア、下水道の日等を通して、市民に公衆衛生や住環境向上のためにも水洗化が必要である事を説明している。							
【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】 水洗便所への改造を推進するため、水洗化の啓発活動に積極的に取り組むとともに、普及促進員等による戸別訪問の回数を増やしていく。(供用開始後、供用開始1年後、2年後及び3年経過前)							

<36>

担当課

建設部都市計画課

指 標 名	米子市の景観を魅力的と感じる市民の割合						
指標の説明	本市の保有する自然環境や文化環境を活かしたまちづくりの実現に努めていることから、市民が本市の景観を魅力的と感じる割合の2.1ポイント増を目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	40.9%	—	44.8%	44.8%	47.4%	43.0%	A

【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

1 良好な景観の創出

- ・ 景観法に基づく米子市景観計画の運用と米子市景観条例の制定
- ・ 景観形成重点区域の整備

旧加茂川・寺町周辺地区街なみ環境整備事業

まちかど広場用地取得、旧加茂川沿い転落防止柵設置工事、家屋修景助成

2 景観形成活動の推進

- ・ 都市景観写真展の開催 応募作品数 92点
- ・ 緑化活動支援事業 支援団体数 18件

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

- ・ 米子市全域を景観計画区域とし、市民及び事業者並びに市が協力して美しい米子を守り、つくり、育む。
- ・ 景観上特に重要な大山景観形成重点区域、弓ヶ浜景観形成重点区域の自然景観は安らぎや潤いを与えてくれる貴重な資源であるため、適切に保全するとともに、これらに対し十分に配慮した景観形成を図る。また、旧加茂川・寺町周辺景観形成重点区域の建築物等については、歴史的資産及び街並みなど周辺の景観と調和が取れるような景観形成を図る。
- ・ 都市景観写真展に変わる都市景観施設賞の創設により、さらなる景観形成活動の推進を図る。

<37>

担当課

環境政策局環境政策課

指 標 名	平成12年度を基準としたごみの削減率
指標の説明	循環型社会の実現を目指すため、ごみの減量化を推進する必要があります。 指標は、平成12年度のごみ排出量を100とした時、ごみがどの程度削減されてきているかを表します。

進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
		5% (H16) 5% (H17)	△4%	16%	18%	21%	8%
【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】							
<p>21年度のごみ排出量(56,979t)は、20年度(58,853t)と比較して、約3%減少し、19年4月から実施している家庭ごみの有料化(可燃ごみ、不燃ごみ・不燃性粗大ごみ)による減量効果が持続している。</p> <p>12年度を基準としたごみの削減率については、ごみ有料化の効果により19年度以降ごみ排出量が大幅に減少しており、21年度実績値も、削減率21%で、22年度目標値の8%を上回り、目標を達成している。</p>							
【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】							
<p>22年度についても、次のような、ごみ減量化事業、情報提供、啓発に取り組み、更なるごみ減量化を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ情報誌「よなごみ通信」の発行(年1回)、広報よなご、米子市ホームページを利用した情報提供、啓発 ・自治会、リサイクル推進員等との連携による自治会での減量化、リサイクルの推進 ・自治会、各種団体、学校等を対象とした分別講習会等の開催 ・家庭用生ごみ処理機等購入費補助事業の実施 ・ダンボール箱を使った生ごみ堆肥化の推進 ・ノーレジ袋推進協議会への参加(マイバッグ運動の推進、レジ袋有料化の検討) 							

<38>

担当課

環境政策局環境政策課

指標名	ごみのリサイクル率						
	指標の説明	<p>循環型社会の実現を目指すため、ごみの再生利用(リサイクル)を推進する必要があります。 指標は、本市がごみをリサイクルしている状況を表します。</p> <p style="text-align: center;">リサイクル率 = 資源化量 ÷ 総ごみ排出量</p>					
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	15.9% (H16) 16.1% (H17)	16.6%	17.9%	16.5%	20.2%	21.0%	B

【21 年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

旧米子市清掃工場を解体し、跡地の一部に、溶融スラグを建設資材として有効利用するための「ストックヤード」を建設し、21 年度から供用開始した。

21 年度は、米子市クリーンセンターから発生した溶融スラグを約 84%再生利用（出荷）しており（残りはストックヤードで保管し、22 年度に再生利用する）、これにより、20 年度と比べて約 4%リサイクル率が上がった。

リサイクル率は、21 年度見込値が 20.4%であり、22 年度目標値の 21%にかなり近づいている。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

22 年度は、米子市クリーンセンターから発生した溶融スラグをほぼ 100%再生利用（出荷）する見込みであり、リサイクル率も 1%弱上がると予想される。

引き続き、米子市クリーンセンターから発生する溶融スラグの再生利用を図るとともに、次の取り組みを実施することにより、ごみの減量化と集団回収の奨励、古紙の分別徹底などリサイクルの向上を図り、22 年度の目標の達成を目指す。

- ・ ごみ情報誌「よなごみ通信」の発行（年 1 回）による情報提供、啓発
- ・ 広報よなご、米子市ホームページを利用した情報提供、啓発
- ・ 自治会、リサイクル推進員等との連携による自治会での減量化、リサイクルの推進
- ・ 資源ごみ回収運動推進事業（奨励金の交付）の実施

<39>

担当課

総務部防災安全課

指 標 名	消防団員数						
指標の説明	消防体制の充実・強化を図るため、条例で定めた消防団員の定員を充足させる必要があることから、消防団員の 32 人増を目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18 年度 実績値	19 年度 実績値	20 年度 実績値	21 年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	498 人	515 人	509 人	509 人	504 人	530 人	C

【21 年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

- ・ 平成20年度末の大量退職（29人）もあり、基準日の 4 月 1 日時点は前年度ピーク値の 523 人から 504 人にまで減少したが、自治会への働きかけや地域のイベントへの消防団としての参加等を通じて分団ごとに様々な取組をし、3 月 31 日時点では 514 人まで回復した。また、大量退職とそれに伴う新入団の加速によって平均年齢も下がり、退職のピークは脱したものと思われる（平成 21 年度末の退職者は 7 人）。

- ・ 発足 4 年目の女性分団において、女性分団独自の心配蘇生法講習を一層精力的に行った。自主防災組織や自治会等からの要請も増え、初の試みとして、保育園職員を対象とした乳幼児の心肺蘇生法講習を実施し、好評を得た。これにより、市民にも女性分団、ひいては米子市消防団に対する認知度・評価はかなり高まったものといえる。
- ・ 平成23年 6 月までに設置が義務付けられている住宅用火災警報器の普及啓発を積極的に行い、常備消防職員とともに戸別訪問を実施するなど、地域防災の要としてその活躍をアピールするとともに、住民の不安払拭に貢献した。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

- ・ 消防団員数確保に関する県の支援策を積極的に活用する。
- ・ 報道機関に消防団事業の情報提供を行う。
- ・ 団員募集ポスターの掲示、消防団 P R チラシの配布を行う。
- ・ テレビ出演等による消防団活動の P R を行う。
- ・ 防火・消火活動だけでなく、地域における応急手当講習の開催等を通じて、住民から信頼される、魅力ある消防団を目指す。

<40>

担当課

総務部防災安全課

指 標 名	自主防災組織の結成率						
指標の説明	市域の広範囲にわたって災害が発生した場合、救急、救助、消火などの活動については、地域住民による行動が重要となるため、毎年 2 ポイント増の自主防災組織の結成を目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18 年度 実績値	19 年度 実績値	20 年度 実績値	21 年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	27%	29%	31%	32%	33%	37%	B

【21 年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

「広報よなご」にて、自主防災会結成の呼びかけを行った。
 新規結成 5 件（新規結成 5 団体、継続認定（旧淀江町）3 団体）があった。
 防災資機材購入事業 24 件、訓練事業 15 件に補助を行い、ソフト、ハード面の充実を図った。
 各地域の防災活動の充実を図るため、各地域の指導者養成研修を行った。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

「広報よなご」に結成を呼びかける広報を掲載する。
 自治連合会、自治会の総会等で結成に関する説明を行う。
 既存組織の活動を活発化することにより、市民の自主防災組織への関心を高める。

<41>

担当課

総務部防災安全課

指 標 名	公共建築物（昭和 56 年以前に建築）の耐震調査の割合						
指標の説明	災害発生時には、公共施設を避難所として使用するため、これらの建物の安全を確保する必要があることから、耐震調査の割合の 16 ポイント増を目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18 年度 実績値	19 年度 実績値	20 年度 実績値	21 年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	70%	73%	74%	79%	92%	86%	A
【21 年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】 就将公民館、成実公民館、淀江公民館、大和公民館、公会堂の耐震調査を行った。							
【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】 22 年度は、2 ポイントの耐震調査割合増を行う。 （参考）全体数：62 件 基準値：46 件 実績値：57 件 22 年度調査予定施設：中央隣保館							

<42>

担当課

総務部防災安全課

指 標 名	交通事故発生件数						
指標の説明	交通安全施設の整備、交通安全意識の高揚や交通安全教育の推進など、交通安全対策に努めていることから、交通事故の発生件数を 58 件減らすことを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18 年度 実績値	19 年度 実績値	20 年度 実績値	21 年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	1,043 件	1,013 件	917 件	742 件	637 件	985 件	A
【21 年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】 21 年度の本市の交通事情に応じた効果的な施策を取り入れた「米子市セーフティ作戦」を策定し、各関係機関や団体をはじめ幅広い市民の力を結集して協力に推進することにより、交通事故の減少、さらに安全で快適な交通社会を実現することを目的として運動を展開した。							

具体的には、春、夏、秋、年末の各交通安全運動期間中、各関係機関や団体により、(1)子どもと高齢者の交通事故防止、(2)飲酒運転の根絶、(3)高齢者と若者の安全運転の推進、(4)全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底、(5)自転車のマナーアップの推進、(6)交差点での交通事故防止、(7)“みんなが着けよう！反射材キャンペーン”の推進、(8)運転中における携帯電話の使用禁止の徹底、(9)交通安全にみんなで参加、実践する活動の推進の重点項目を設け、ドライバーや歩行者等に対し、街頭広報や啓発物品の配布等啓発活動を行った。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

21年度は、交通事故件数の目標値を達成したが、これを継続的なものとするためには地道な交通安全啓発活動を展開していく必要があり、各期に実施する交通安全運動と連動し、広報・啓発活動を今後も継続していく。

<43>		担当課		企画部市民自治推進課			
指 標 名	自治会に加入している世帯の割合						
指標の説明	市内全世帯のうち、自治会に加入している世帯の割合						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	73.3%	71.8%	70.5%	69.8%	67.5%	74.1%	D
【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】							
各自治会が取り組む加入促進活動への支援を目的に、20年度に作成した「自治会運営便利帳」の改訂版として、「自治会運営の手引き」を米子市自治連合会（常任委員会・編集委員会）において、編集作成し全自治会長に配布した。							
【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】							
米子市自治連合会では、「自治会運営の手引き」の次年度版編集を通して、内容の充実と各自治会が行う加入促進活動への支援を行うことを今年度の具体的な取り組みとしている。							
本市としても、引き続き、先進地の情報収集等を行い、同会と連携・協力し、自治会の加入率向上を図りたい。							

<p>指 標 名</p>	<p>生活排水対策重点地域「加茂川・旧加茂川流域」、「大沢川流域」における施設整備によるBOD汚濁負荷量</p>						
<p>指標の説明</p>	<p>BOD汚濁負荷量とは、河川の水質汚濁の原因となる生活排水等の汚れの総量を表します。 公共下水道整備等の事業を推進することにより、「加茂川・旧加茂川流域」については27.3 kg/日減少を、「大沢川流域」については、27.9 kg/日減少を目標とします。 [公共下水道水洗化人口] 「加茂川・旧加茂川流域」H17年度 15,712人⇒H22年度 15,944人 「大沢川流域」H17年度 2,870人⇒H22年度 4,371人</p>						
<p>進捗状況</p>	<p>基準値 (H17)</p>	<p>18年度 実績値</p>	<p>19年度 実績値</p>	<p>20年度 実績値</p>	<p>21年度 実績値</p>	<p>目標値 (H22)</p>	<p>目標 達成度</p>
	<p>加茂川・旧 加茂川流域 466.9 kg/日</p>	<p>—</p>	<p>461.3 kg/日</p>	<p>453.5 kg/日</p>	<p>396.5 kg/日</p>	<p>439.6 kg/日</p>	<p>A</p>
<p>大沢川流域 560.0 kg/日</p>		<p>523.1 kg/日</p>	<p>504.4 kg/日</p>	<p>489.3 kg/日</p>	<p>532.1 kg/日</p>		
<p>【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】 公共下水道の施設整備が、「加茂川・旧加茂川流域」の陽田町や、「大沢川流域」の西福原地内で進んだ。また、普及活動により、家庭の公共下水道への接続も増加した。 流域による差はあるが、BOD汚濁負荷量削減目標を達成している。 公共下水道の水洗化人口も「加茂川・旧加茂川流域」では18,000人を越え「大沢川流域」でも5,000人を越え、目標を達成している。</p>							
<p>【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】 公共下水道の整備を推進し、公共下水道への接続および水洗化を促進する。 生活排水対策講習会の開催やろ過袋幹旋などの生活排水対策を実施する。</p>							

<45>

担当課

経済部農林課

指標名	市行造林地内で間伐・枝打ち等の作業を実施する面積						
指標の説明	保育事業(間伐・枝打ち等)実施面積を17年度より2.47ha増となる、35haを毎年実施することを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	32.53ha	33.80ha	46.67ha	23.48ha	9.39ha	35.00ha	D
<p>【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】 日南町上萩山の市行造林において、枝打ち9.39haを実施した。 これは20年度実績に比較すると、間伐で11.74haの減、枝打ちで2.35haの減となっている。</p>							
<p>【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】 補助金の活用等を検討しながら、適正な造林事業に努める。</p>							

<46>

担当課

経済部農林課

指標名	担い手の農地利用集積面積が地域の農用地に占める面積の割合						
指標の説明	担い手農家の規模拡大や農地の有効利用のため、農地の流動化や集約化を推進していることから、毎年3ポイント増を目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	6.1%	7.7%	13.2%	13.6%	13.1%	16.7%	C
<p>【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】 認定農業者の育成、法人化への取組みを行い、認定農業者の数90経営体、集落営農24団体及び他産業からの参入企業6社へ増加したが、担い手による農用地利用集積面積は415.4haから401.8haへ減少した。</p>							

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

今後も引続き、集落説明会及び個別面談の実施、他産業からの企業参入の推進等による「担い手の数」を増やす取組、利用権設定等促進事業・法改正により新たに創設された農地利用集積円滑化事業による農用地利用集積の取組み及び担い手規模拡大促進事業、認定就農者農地賃借料助成事業等による認定農業者・法人等の担い手への農地の流動化・集約化への取組み等により、目標の達成を目指す。

<47>		担当課		経済部農林課			
指 標 名	遊休農地解消面積						
指標の説明	農地の保全と農業の持続性を図るため、遊休農地の削減に努める必要があることから、毎年 5ha の解消を目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	—	2ha	8ha	18ha	22ha	23ha	B
<p>【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】</p> <p>国の耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した遊休農地の解消を推進するため、米子市耕作放棄地再生利用緊急対策事業を新たに実施し、国交付金で不足する部分を県と連携して支援した。</p> <p>また、弓浜6地区の遊休農地対策協議会に対し会議費等を補助し、遊休農地解消に向けた検討を実施した。</p> <p>米子市耕作放棄地再生利用緊急対策事業で約 2.5ha、米子市遊休農地解消推進事業で約 1.6ha、米子市担い手規模拡大促進事業で約 0.1ha、合計で約 4.2ha を解消した。</p>							
<p>【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】</p> <p>新規参入を目指す企業及び規模拡大を目指す農業者に対し、遊休農地の利用調整を積極的に実施する。</p> <p>米子市耕作放棄地再生利用緊急対策事業（市内の耕作放棄地を整備した者に対し補助金を交付する事業及び弓浜6地区の各遊休農地対策協議会に対し会議費等を交付する事業）を実施し、遊休農地の解消促進を図る。</p> <p>遊休農地の有効利用の方策を米子市遊休農地対策協議会、米子地域耕作放棄地対策協議会、西部地区遊休農地対策協議会等において検討する。</p>							

<48>

担当課	経済部農林課
-----	--------

指標名	担い手の数						
指標の説明	農業の発展のため、法人・大規模農家・認定農業者・新規参入者・高齢者や女性などの多様な担い手を育成する必要があることから、毎年概ね13経営体ずつ増やすことを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	38 経営体	46 経営体	86 経営体	88 経営体	90 経営体	101 経営体	C
<p>【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】</p> <p>88 経営体 ⇒ 90 経営体</p> <p>米子市担い手育成総合支援協議会の構成機関・団体等が連携を密にし、同じ認識のもとで取組みを推進した結果、目標には届かなかったが、2 経営体増加した。</p>							
<p>【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】</p> <p>関係機関で認定農業者候補のリストアップをし、その候補者リストに基づき、個別面談により認定農業者へ誘導していく。</p> <p>現時点で認定農業者向けのメリット施策がほぼ無くなっていること、認定農業者の高齢化も進んでいることから、今後、期限を迎える認定農業者に対する更新に向けたフォローが中心となる。21 年度、90 経営体となったが、既存の認定農業者に密着した相談体制の充実をはかり、認定を継続してもらうことと併せ、他産業からの企業参入を推進するなどし、新たな担い手を育成する。</p>							

<49>

担当課	経済部農林課
-----	--------

指標名	農産物を購入する際に地元産を優先する市民の割合						
指標の説明	地産地消の推進を図っていることから、市民の7割が地産地消に取り組むことを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	65.0%	—	74.6%	74.6%	71.4%	70.0%	A

【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

米子市地産地消推進計画に掲げる下記の取組みを実施した。

- ・ 学校給食における地元産農産物の利用の促進
- ・ フラワーフェスティバル・米フェスタ・食のみやこ鳥取県食の博覧会 in 西部等の地産地消に関連するイベントの開催について支援、参加。
- ・ 市民農園を通じて消費者に対する農業への理解の促進。
- ・ 21年度から新たに取組んだ、「いきいき直売支援事業」により、地元農産物を販売する直販所・生産者グループ等の運営・PR等に要する経費の支援。
8団体に305,349円の支援

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

- ・ 21年度実施「まちづくりに関する市民アンケート」の結果、22年度の目標値をすでに達成しているが、引続き、米子市地産地消推進計画に掲げる学校給食での地元農産物の利用促進、地産地消に関する情報の提供等に取り組む。
- ・ フラワーフェスティバル・米フェスタ等の地産地消に関連するイベントの開催支援・参加。
- ・ 市民農園を通じた消費者に対する農業への理解の促進等に努めると共に22年度も地元農産物を販売する生産者グループ等を支援する「いきいき直売支援事業」により、地元で生産された安全で安心な農産物の利用促進を進めていく。

<50>

担当課

経済部水産振興室

指標名	美保湾沿岸に設置した魚礁の設置箇所数						
指標の説明	水産資源の育成と確保のため、計画的に魚礁を設置していることから、計画期間内に2箇所増やすことを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	19箇所	19箇所	20箇所	20箇所	21箇所	21箇所	A

【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

美保湾に並型魚礁を投入した。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

この魚礁設置事業は隔年で実施する計画であり、21年度が最終年度であった。(目標を達成した。)

<51>

担当課

経済部水産振興室

指標名	皆生漁港の北防波堤の延長						
指標の説明	皆生漁港の安全性を向上するため、北防波堤を 60m延長することを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	151m	181m	181m	211m	211m	211m	A
【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】 20年度に目標達成済み。							

<52>

担当課

経済部水産振興室

指標名	日野川における天然稚鮎の遡上数						
指標の説明	日野川における天然稚鮎の遡上状況を表します。淡水魚の積極的な保護・増殖を図る必要があることから、天然稚魚の遡上数が増加することを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	5.45万尾	40万尾	60万尾	72万尾	91万尾	100万尾	B
【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】 えん堤下流部の 12,000 m ² の産卵場を整備した。							
【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】 継続して産卵場の整備を行い、天然稚鮎の増加を図る。							

<53>

担当課

経済部商工課

指 標 名	中心市街地商店街空き店舗への出店数						
指標の説明	商店街の活性化を図るため、テナントの誘致や新規出店希望者への支援を行い、空き店舗の活用に努めていることから、毎年5店舗の出店を目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	20店舗	23店舗	40店舗	44店舗	60店舗	45店舗	A
<p>【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】</p> <p>商店街の空き店舗への新規出店を支援する「にぎわいのある商店街づくり事業」補助金について、広報よなご、ホームページ、鳥取県発行の冊子「商工施策の概要」などを活用し、周知に努めた。</p> <p>様々な事業内容の22店が商店街の空き店舗に新規出店を行った。</p> <p>そのうち、「にぎわいのある商店街づくり事業」補助金制度を利用して開店した店が15店あった。</p>							
<p>【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】</p> <p>引き続き、補助金制度の周知に努める。</p> <p>商店街振興組合、米子商工会議所など関係団体と連携し、出店を希望する者に対して、補助金の周知や助言を行い、出店しやすい環境整備に努める。</p>							

<54>

担当課

経済部経済戦略課

指 標 名	米子流通業務団地への進出率						
指標の説明	流通業務拠点として整備した米子流通業務団地への企業誘致を推進し、団地の分譲に取り組んでいることから、米子流通業務団地が全て埋まることを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	43.5%	61.8%	77.0%	77.0%	77.0%	100%	C

【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

- ・ 運送業等の流通関連業種、金融機関、ゼネコン等への営業活動を行い企業立地促進に努めた。
- ・ 経営健全化計画を策定した。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

- ・ 都市計画変更を検討する：流通業務団地を廃止し流通業務地区とすることで、進出可能業種の拡大を図り、企業立地の促進に努める。
- ・ 分譲価格について検討を行なう：近隣の土地取引価格に対する割高感の解消を図る。
- ・ 事業用定期借地を拡大し、企業立地の促進に努める：初期投資を抑制するという企業ニーズへの対応。

<55>

担当課

経済部経済戦略課

指標名	工業団地内への立地企業数						
指標の説明	工業用地を計画的に整備し、企業誘致を推進していることから、年間1～2件の企業立地を目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	144件	145件	145件	145件	145件	150件	C

【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

- ① 米子港・旗ヶ崎工業団地
 - 米子港・旗ヶ崎工業団地排水整備事業
企業の円滑な事業活動の向上を図るため、団地内道路側溝の改修工事を実施した。
- ② 和田浜工業団地
 - 和田浜工業団地流末排水路整備事業着手
工業団地のインフラ基盤を強化するため、流末排水路整備事業に着手した。
 - ・ 事業計画年度 21～23年度
 - ・ 総延長 約450m
(21年度実績 約280m施工)

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

- ① 和田浜工業団地
 - (1) 和田浜工業団地流末排水路整備事業を引き続き行なう。(22年度は120mを施工予定)
 - (2) 空地・空工場の情報を適宜把握し、経済戦略課と連携して、企業立地に努める。

- ② 米子港・旗ヶ崎工業団地
 (1) インフラ整備を引き続き行なう。
 (2) 空地・空工場の情報を適宜把握し、経済戦略課と連携して、企業立地に努める。
- ③ 夜見・富益工業団地
 空地・空工場の情報を適宜把握し、経済戦略課と連携して、企業立地に努める。

<56>		担当課		経済部経済戦略課			
指標名	地元企業の産学官連携事業数						
指標の説明	(財)鳥取県産業振興機構と連携し、産学官の連携事業を増加させるよう取り組んでおり、年間2件程度の新規連携事業を実施することを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	2件	8件	12件	15件	17件	12件	A
<p>【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】</p> <p>(1) (財)鳥取県産業振興機構西部支部が関わった産学官連携事業 ○表面改質技術による金型の高寿命化 鳥取県金属熱処理協業組合・米子高専との連携</p> <p>(2) 中小企業新技術新製品開発促進事業 ○ヒト遺伝子を導入したラットES細胞の作製 (株)chromocenter・鳥取大学との連携</p>							
<p>【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】</p> <p>産学官連携事業については、今後も鳥取県、鳥取県産業振興機構、鳥取県産業技術センター、鳥取大学、米子高専等と連携し、事業を増加させるよう側面的な支援を継続する。</p> <p>(1) バイオ産業創出の実現を目指した「とっとりバイオフィロンティア」の設置及び活動、運営等が円滑に行えるよう積極的に協力し、新産業創出や市内産業の高付加価値化を目指す。</p> <p>(2) 鳥取県産業振興機構に派遣した職員との連携を図り、産学官連携事業の増大を図る。</p> <p>(3) 鳥取大学産学・地域連携推進室西部連携会等に参加し、情報交換や意見交換を深めることにより、産学金官の連携を強化する。</p>							

指標名	企業誘致件数						
指標の説明	<p>地域経済への波及効果を期待し、積極的な企業誘致活動に取り組んでいることから、毎年1社の企業誘致を目標とします。</p> <p>※19年度分から、各件数については、流通業務団地に新たに進出した企業や業態を変えて進出した企業数を含んでいます。</p>						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	12企業	12企業	15企業	15企業	15企業	17企業	B
<p>【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】</p> <p>JT米子工場の撤退に伴う跡地活用について、県と連携して誘致活動に取り組んだ結果、(株)ナノオプトニクス・エナジーによる電気自動車開発、製造工場としての進出が決定し、3月に企業、県、市による協定書の締結を行った。</p> <p>同社は、22年度に本市へ進出し、工場の取得及び改修を経て、23年度春の操業開始を予定している。</p> <p>その他、進出可能性のある企業について、県と連携し、市の大阪事務所も活用しながら企業訪問を行い、本市の支援制度等をPRし、誘致活動を行った。</p>							
<p>【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】</p> <p>引き続き県と連携しながら、企業誘致活動を強化し、目標値の達成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業立地に係る情報収集に努め、進出可能性のある企業への訪問を強化する。 ・ 県や市で制定している補助金、融資制度、税制優遇措置等の支援制度について積極的なPRを図る。 ・ 支援制度については、企業のニーズにより、柔軟に拡充や要件緩和を検討する。 ・ 市内工業団地、工場適地、空工場等の情報を収集し、その情報発信に努める。 ・ 県外の商工団体、産業団体等の産業視察を誘致し、本市の流通業務団地、崎津がいなタウン、その他の工業団地等のPRを図る。 							

指標名	米子・皆生温泉周辺の観光客入込み客数						
指標の説明	観光的魅力の情報発信の充実などにより、観光客の誘致を図っていることから、米子・皆生温泉周辺の観光客入込み客数について、過去5年間の最高値と同レベルまで回復することを目指します。 (※鳥取県観光客入込動態調査に基づく数値)						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	138.3 万人	137.0 万人	130.8 万人	121.7 万人	139.7 万人	150 万人	C

【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

県境を越えた連携で観光振興を図るため、「山陰文化観光圏協議会」を組織し、二次交通のガイドブック、着地型のガイドブック、共同周遊マップ作成などの事業を実施するとともに大山・中海圏域では、ポータルサイトの運営のほか、中海市長会においても二次交通の整備に向けたバスの実証実験や、インバウンド対策に外国語版パンフレットの作成やグッズを作成し、圏域全体での誘致に取り組んだ。また皆生温泉においても引続きエコツーリズムに取り組むホームページによる情報発信をするとともに皆生シーカヤックなどのツアープログラム案内を実施した。

皆生温泉の活性化事業として「皆生温泉にぎわい創出事業」実施し、「観光協会の助成事業」では、各種誘致活動、共同宣伝、各種イベントを開催した。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

ETC効果も取り込めるよう、圏域のポータルサイトの運営、周遊マップを作成する。

また、二次交通マップの作成、周遊バスの実証運行等の観光圏整備事業を推進することにより圏域の連携をさらに深める。皆生温泉、米子駅前を広域観光圏の滞在促進地区として、滞在型観光を推進する。そのために、大山、皆生の自然を利用したエコツーリズムの推進、にぎわい創出事業を中心に皆生温泉の活性化を図るとともに、米子市観光協会の各種事業の助成を行い、エージェントへのプロモーション、着地型メニューの開発支援等を行う。

特に、国の緊急雇用制度を引続き活用し、境港市、蒜山の観光案内所に職員を配置するほか、観光協会、皆生温泉旅館組合に人材を雇用し、ヘルスツーリズムの開発、インバウンド対策に取り組み、プロモーション活動の充実を図るとともに、山陰文化観光圏、大山パークウェイを軸とした広域観光の推進に取り組む。また、米子がいな祭等イベントを実施し、交流人口の増大を図るとともに、山陰国際観光協議会において、米子ソウル便の利用促進等を図りながら外国人の誘客に努める。

指 標 名	皆生温泉宿泊者数（入湯税対象客数）						
指標の説明	観光的魅力の情報発信の充実などにより、観光客の誘致を図っていることから、米子・皆生温泉周辺の観光客入込み客数について過去5年間の最高値と同レベルまで回復することを目指します。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	47.8万人	44.7万人	44.7万人	43.6万人	43.0万人	50.0万人	D

【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

○取組み状況

皆生温泉にぎわい創出事業や観光協会助成事業により重点的に皆生温泉の宣伝PR、イベント開催をするとともに、『大山・中海・隠岐エコツーリズム協議会』皆生ツアーデスクを設置して、ツアーブックの配付やホームページによる情報発信をさらに推進した。

「山陰文化観光圏」の認定を受け、皆生温泉は滞在促進地区に指定され、また中海市長会の観光連携事業により新たな広域観光連携を開始した。

○成果

観光業界全体が落ち込んでいるなか、昨年度は施設の新規開業があったものの、21年度の皆生温泉宿泊者数は、429,616人（対前年98.65%）で、引続き厳しい結果であった。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

○皆生温泉にぎわい創出事業の支援を重点的に行うとともに、緊急雇用対策事業を活用して、「皆生温泉旅行商品販路開拓事業」「皆生温泉ヘルスツーリズム開発事業」「皆生温泉街並み環境整備事業」「エコツアー市場調査事業」を昨年に引き続き実施するほか、新たに米子市観光センターの「素鳳ふるさと館」をリニューアルオープンすることから、運営管理及びイベント企画をするための企画員を配置して、より集客ができる施設にする。

○22年度は開湯110周年の記念事業を実施することにより、より集客に向けたイベントを実施する他、加えて、皆生海浜公園に足湯が完成することから、これを記念事業と併せてイベントとして実施し、観光や客市民に広くPRする。

○広域観光圏の推進を支援し、皆生温泉を観光圏の滞在促進地区として滞在型観光の推進を図るため圏域のポータルサイトの運営、周遊マップ、二次交通マップの作成、周遊バスの実証運行等の整備事業を推進するとともに「大山・蒜山パークウェイ構想」を推進するため、地域総合整備財団の「e-地域資源活用助成事業」を今年度も活用する。

○観光協会の各種事業の助成を行い、エージェントへのプロモーション、着地型メニューの開発支援等を行う。

<60>

担当課

経済部農林課

指標名	米子市の地籍調査進捗率						
指標の説明	計画的に地籍調査事業を実施してきていることから、計画期間内に4ポイントの増を目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	33.0%	33.2%	33.8%	33.8%	34.1%	37.0%	C
<p>【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】</p> <p>21年度は富益の一部の認証作業を行った。</p> <p>富益地区については、18年度に事業計画の見直しを行い、20年度から3ヶ年は調査を行わず、認証作業に専念し、23年度から調査を再開する予定である。</p>							
<p>【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】</p> <p>22年度は、富益の一部について認証・登記作業をすすめていく。富益地区については、事業計画の見直しに伴い、20年度～22年度までは認証作業、23年度から調査再開と認証作業を実施して30年度に完了する予定である。</p> <p>地籍調査は、一筆の土地を明確化することにより、適正な課税評価や、用地等を伴う公共事業の効率的な促進にも繋がる事業である。また、19年度より、街区基準点の管理委託を受けている。これは、16～18年度に国土院が、全国の人口密集地域（DID区域）に公共基準点として設置した重要な測量標識で、米子市内には約500点（その他補助点は多数あり）設置してある。今後、測量・登記等での使用、工事での点の移設等を行うときには、原因者、管理者、国土院で申請・承諾・報告・検査等の手続きを行わなければならないもので、さらに地籍調査の進捗に影響を及ぼしている。</p> <p>円滑な事業遂行のため、体制の充実を図るなどして地籍の明確化を図っていく。</p>							

<61>

担当課

建設部土木課

指標名	幹線市道の整備延長 実延長 L=141,922m (改良済 L=125,105m)
指標の説明	計画的に幹線市道を整備してきていることから、計画期間内で、L=1,863m 整備することを目標とします。

進捗状況	基準値 (H17)	18年度実 績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
		125,105m	125,563 m	125,714 m	125,784 m	125,784 m	126,968 m
【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】 皆生温泉環状線（3工区）を整備した。 ○測量設計委託 L=130m ○用地買収 5件 A=190㎡ ○物件移転補償 N=2件							
【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】 22年度以降も計画的に皆生温泉環状線（3工区）を整備し、安全で快適な市民生活の基盤となる幹線道路や生活道路の整備を図り、総合的な交通体系の整備に努める。 (22年度事業内容) ・用地買収 9件 A=533㎡ ・物件移転補償 N=9件 ・交差点改良（新開川）							

<62>

担当課

企画部地域政策課

指標名	米子空港搭乗者数						
	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
指標の説明	毎年1.3万人の搭乗者数の増加を目標とします。						
進捗状況	47.8 万人	49.9 万人	50.0 万人	48.0 万人	44.2 万人	55.3 万人	D
【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】 鳥取県及び境港市と共同し、米子空港駐車場無料化や米子空港駅待合所の設置を行うと共に、米子空港利用促進懇話会及び米子ーソウル国際定期便利促進実行委員会等の関係機関と協力し、旅行商品造成支援、山陰観光情報発信、利用促進キャンペーン等の米子空港就航便の利用促進策を行ったが、名古屋便の減便や米国金融市場の危機に端を発した景気後退が長期化する中、国内におけるビジネス需要の減退や個人消費の落ち込みが厳しさを増し、ビジネスや観光による航空機利用が減少し、前年を下回る搭乗者数となった。 20年度の利用者数は空港全体で442,326人と対前年比92.1%、38,069人の減。							

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

景気の回復を待ちながら、地道な利用促進活動により利用者数を少しでも増やしていくと共に、米子空港滑走路 2,500m 化事業完了や羽田空港拡張事業の完成にあわせ、鳥取県や関係団体と協調し、航空会社に対し機材の大型化や増便、新規路線の就航について要望していく必要がある。

<63>

担当課

企画部地域政策課

指標名	米子市を通るバス路線数						
指標の説明	米子市内を運行するバス路線数						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	30 路線	27 路線	27 路線	27 路線	28 路線	30 路線	C

【21 年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

- ・ 赤字路線に対する補助
- ・ 国・県に対して補助制度の維持及び充実についての要望
- ・ 既存路線の収支改善のため、運行時間の変更、運行経路の変更等についてバス事業者と協議

※20 年度中（H19. 10～H20. 9）の廃止・統合路線・新設路線等

- ・ 米子－高専－米子

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

- ・ 必要な路線については、今後も補助を継続する。
- ・ 引続き国・県に対して補助制度の維持・充実について要望をする。
利用実態に即した合理的な運行形態について事業者と継続的に協議を行う。

<64>

担当課

企画部情報政策課

指標名	米子市のケーブルテレビ網カバー率						
指標の説明	情報通信基盤の整備を行い、地域の高度情報化を推進していることから、市内のどこでもケーブルテレビを見ることができるとを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	93.9%	100%	100%	100%	100%	100%	A
<p>【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】</p> <p>18年度中に淀江町全地区全域へのケーブルテレビ網の敷設を完了し、市内のケーブルテレビ網カバー率は100%となっている。</p> <p>〈参考〉</p> <p>①TV加入数：1,292</p> <p>②インターネットのみ加入数：25</p> <p>③再送信世帯数：134</p> <p>接続世帯数(①+②+③)：1,451(平成22年5月1日現在)</p> <p>淀江町地区世帯数：3,303(平成22年5月1日現在の住基世帯数)</p> <p>接続率：43.9%</p>							

<65>

担当課

経済部観光課

指標名	コンベンション開催件数						
指標の説明	(財)とっとりコンベンションビューローが補助対象とするコンベンション開催件数 経済波及効果の大きいコンベンションの誘致活動を支援しており、毎年1~2件増やすことを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	23件	21件	13件	26件	13件	30件	D
<p>【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】</p> <p>○取組み状況</p> <p>コンベンション主催者へ開催支援し、コンベンションの誘致活動、広報宣伝のために、コンベンションビューローの運営に対して運営費負担金を支出するとともにコンベンション誘致会議に参加し、誘致活動を支援した。</p>							

また、米子国際会議場の運営管理及び米子駅前簡易駐車場の入退場をゲートバー式に改め目的外利用の車両を排除してコンベンションセンター用の無料駐車場を確保し、利用促進を図り、飲食店マップの作成、配付及び観光パンフレットの提供など開催、誘致支援を行なった。

○成果

21年度（財）とっとりコンベンションビューローが補助対象とするコンベンション開催件数は、13件で対前年比50%と大幅に減少した。

ただし対象とならない誘致件数38件、参加者数8,934人。合せて51件、16,192人の参加者を誘致した。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

会議、大会等は、毎年定例の開催ではないため、年によって偏りが出るが、補助対象とならないコンベンションの誘致も多く、継続した誘致活動が重要であるので、引き続き、（財）とっとりコンベンションビューローへの支援を積極的に行なう。

また、米子国際会議場の管理、コンベンションセンター用の無料駐車場としての米子駅前簡易駐車場の適切な運営管理及び観光パンフレットの提供等による利用促進を図る。

<66>

担当課

経済部観光課

指標名	コンベンション参加延べ宿泊者数						
指標の説明	(財)とっとりコンベンションビューローが補助対象とするコンベンション参加宿泊者数 コンベンションの参加宿泊者数の増加は、観光産業や地域経済の活性化等につながると考えられるため、コンベンションへの参加による宿泊客数の20%増を目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	8,285 人	12,447 人	4,226 人	11,212 人	6,966 人	10,000 人	D

【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

○取組み状況

コンベンション主催者へ開催支援し、コンベンションの誘致活動、広報宣伝のために、コンベンションビューローの運営に対して運営費負担金を支出するとともにコンベンション誘致会議に参加し、誘致活動を支援した。

また、米子国際会議場の運営管理及び米子駅前簡易駐車場の入退場をゲートバー式に改め目的外利用の車両を排除してコンベンションセンター用の無料駐車場を確保し、利用促進を図り、飲食店マップの作成、配付及び観光パンフレットの提供など開催、誘致支援を行なった。

○成果

21年度（財）とっとりコンベンションビューローが補助対象とするコンベンション開催件数は、13件で対前年比50%と大幅に減少した。

ただし対象とならない誘致件数38件、参加者数8,934人。合せて51件、16,192人の参加者を誘致した。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

会議、大会等は、毎年定例の開催ではないため、年によって偏りが出るが、補助対象とならないコンベンションの誘致も多く、継続した誘致活動が重要であるので、引き続き、（財）とっとりコンベンションビューローへの支援を積極的に行なう。

また、米子国際会議場の管理、コンベンションセンター用の無料駐車場としての米子駅前簡易駐車場の適切な運営管理及び観光パンフレットの提供等による利用促進を図る。

<67>

担当課

企画部市民自治推進課

指標名	国際交流活動に参加したことの市民の割合						
指標の説明	行政、民間を問わず、様々な国際交流活動が行われており、地域の国際化を促進する上で、多くの市民の国際交流事業への参加に努めてきていることから、市民の10%が国際交流活動に参加することを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	9.1%	—	9.0%	9.0%	11.9%	10.0%	A

【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

◎行政と民間団体が各種交流事業等を実施した

- 〔行政〕
 - ・国際理解講座【小学生向け、高齢者向け（65歳以上）】
 - ・市民向けの中国語・韓国語講座
 - ・韓国語スピーチコンテスト ほか（延参加人数 1,500人）
- 〔民間〕
 - ・韓国・江原道束草市青少年ホームステイ交流事業
 - ・バーベキュー交流会
 - ・国際井戸端会議 ほか（延参加人員 300人）

※まちづくりに関する市民アンケート調査の設問を、20年度実施分の「国際交流活動に参加したことがありますか」から、21年度実施分で「国際交流のイベントや活動に参加したことがありますか」に変更したこともあり、目標を達成した。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

引き続き、民間国際交流団体などの活動支援を積極的に行うとともに、上記各種交流事業、講座などの充実と、市民に対するPRの強化に努める。

※20年度 まちづくりに関する市民アンケート調査結果 9.0%

※21年度 まちづくりに関する市民アンケート調査結果 11.9%

<68>

担当課

総務部財政課

指標名	地方債未償還残高（臨時財政対策債等特別債を除く。）						
指標の説明	公共事業などを実施するために借り入れたお金の残高を表します。増加する借入金の返済は、将来の市民への負担となることから、借入金の残高を40億円以上減らすことを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	600億円	585億円	588億円	540億円	505億円	560億円 以下	A

【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

平成21年度当初予算及び補正予算の編成にあたって、市債の発行を元金償還額以下に抑制し、平成21年度決算においても地方債未償還残高の低減を達成した。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

引き続き、大規模投資的事業の原則凍結等により市債の発行を抑制し、地方債未償還残高の低減を図っていく。

指標名	経常収支比率						
指標の説明	<p>経常収支比率は、税などの一般財源に対して、人件費など行政活動を行うために必要な継続的・固定的な経費が占める割合のことで、数値が低いほど財政運営に弾力性があるとされています。</p> <p>(計算式)</p> $\text{経常収支比率} = \frac{\text{経常経費充当一般財源}}{\text{経常一般財源等}}$						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	87.4%	93.7%	92.8%	93.4%	95.2%	85.0%	D

【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】

1 経常一般財源（分母）に大きく影響を与えた要因

20年度歳入との比較において、世界的な経済金融危機の影響等により地方税が854百万円の大幅な減、また、各種譲与税・交付金が73百万円の減となったものの、地方交付税が388百万円の増、臨時財政対策債が642百万円の増であったこと等により、全体では103百万円の増となっている。

2 経常経費充当一般財源（分子）に大きく影響を与えた要因

定年退職者の退職手当に充当する一般財源の増（168百万円）、生活保護等の扶助費の増（209百万円）、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計などへの繰出金の増（216百万円）などにより、全体では634百万円増となっている。

これらのことから、経常一般財源（分母）が伸びたものの、経常経費充当一般財源（分子）が大幅に増加したことなどから、21年度決算における経常収支比率は、昨年度の93.4%から95.2%に悪化した。

【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】

1 市税等滞納整理緊急対策の実施

市税等の徴収率の目標設定を行い、徴収体制の強化や管理職による滞納対策などに取組み、徴収率の向上を図る。（※22年度～市税滞納整理システムを導入）

2 公債費負担の適正化

「米子市行財政改革大綱・推進計画」及び「公債費負担計画」に基づき、外部評価制度の実施などにより重点的事業に厳選して投資し、公債費負担の適正化を図る。

3 定員適正化計画の策定・実施

事務事業の整理・効率化・民間委託の推進、組織の合理化、職員の適正配置等の観点から定員適正化計画を策定し、順次実施する。

指標名	市税の収納率（現年度分）						
指標の説明	市税現年課税分の調定額に対する収納額の割合 （毎年度0.05%ずつ段階的に上昇させることを目標とします）						
進捗状況	基準値 （H17）	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 （H22）	目標 達成度
	97.7%	97.96%	98.01%	98.03%	98.20%	98.0% 以上	A
<p>【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 早期接触による納税勧奨 ・ 財産調査の徹底と適切な滞納処分の実施 ・ 現地調査と訪問催告による接触機会の拡大 ・ 約束不履行者に係る早期対応の徹底 ・ 折衝準備としての筋書き作りの徹底 ・ 倒産事案の迅速な対応と処分 ・ 塩漬け案件の解消 ・ 高額滞納・徴収困難事案等の定期的な検討会の開催 ・ インターネット公売の実施 							
<p>【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】</p> <p>17年度から行って来た徴収率向上の取組みについて、滞納整理の強化（差押）により、差押件数、差押金額等大幅に向上し、徴収率も向上を続け、19年度には前倒しで目標を達成した。しかし、滞納処分による徴収率向上は限界に来ており、新たな取組みによる徴収率向上を目指していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 滞納整理のシステム化による、滞納整理事務の効率化と迅速化 ・ 徹底した進行管理 ・ 柔軟な勤務体制による納税勧奨の増大 ・ 適切な滞納処分の実施 ・ 滞納整理の運動量の増加 							

<71>

担当課

総務部職員課

指 標 名	人口1万人あたりの職員数						
指標の説明	行政の効率化を進めるためには、職員数の適正化を図ることが必要であると考えられることから、人口1万人あたりの職員数4人削減することを目標とします。						
進捗状況	基準値 (H17)	18年度 実績値	19年度 実績値	20年度 実績値	21年度 実績値	目標値 (H22)	目標 達成度
	69.0人	68.5人	66.9人	66.2人	65.1人	65.0人	B
<p>【21年度中の取組み状況及び成果などを具体的に記述】 技能労務職員（分別収集業務）の職種転換の推進 定年前早期退職制度の時限的特例措置</p>							
<p>【目標実現のための方策・スケジュール・方向性などを具体的に記述】 次に掲げる手段により新規採用を抑制（退職者の一部不補充）し、職員数を削減する。 ・ 事務事業の縮小・廃止及び民間移管の推進 ・ 事務事業の効率化</p>							
H17.4.1 職員数	H18.4.1 職員数	H19.4.1 職員数	H20.4.1 職員数	H21.4.1 職員数			
1,035人	1,026人	1,001人	987人	969人			

YONAGO 🍓